

耳  
高麗軍配圖  
全





1637



養庭文庫

次



商人軍配圖卷之一

わきんどげん せん せん

目録

貧福二の車也り持の全録

いん

ふく

ぐるま

もち

ぜんろく

船島尾陰に代をなせる持巻の全録

せんとう

しん

せん

商人の船島尾に代をなせる持巻の全録

商人の船島尾に代をなせる持巻の全録









また。きき事よ。若よ。かき。ひ。ね。心。賞。を。掛。換。大。由。の  
舟。で。歩。ら。る。身。代。は。は。ら。る。ま。あ。く。空。帯。の。事。は。か。ら。て  
こ。け。て。の。ま。れ。は。同。じ。つ。ら。う。時。は。か。ら。若。女。二。つ。の。系。し。こ  
よ。お。こ。え。で。ま。ま。よ。う。東。舞。を。し。こ。こ。ま。よ。は。の。り。り。利。を  
さ。ら。る。は。地。を。り。て。振。う。ま。て。や。れ。賞。を。物。よ。こ。ら。り  
と。信。大。分。の。換。を。さ。ら。り。時。は。袖。や。ま。ま。し。ず。ん。い。り。て。大。き  
な。る。花。を。り。し。如。所。ね。い。よ。た。く。あ。ま。り。あ。荷。ま。ま。く  
り。ら。が。か。ら。由。こ。の。ま。ま。ね。し。ら。う。ま。の。ま。我。ん。う。う。合。点。を  
さ。ら。事。を。れ。べ。丸。裸。よ。か。ら。て。世。小。初。う。や。の。身。に。き。り  
て。も。人。と。恨。む。り。も。あ。く。ふ。ら。る。と。ま。ま。し。ゆ。へ。と。ま。ま。し。ゆ  
あ。ま。り。の。答。で。よ。居。て。も。申。を。ま。ま。し。ゆ。を。食。し。て。た。の。り

あ。い。づ。道。我。代。よ。つ。た。れ。ね。は。ら。る。ぬ。と。い。の。事。あ。い。づ。道  
知。て。あ。ら。ば。お。と。や。め。て。ま。ま。一。度。中。で。身。代。の。回。向。と。一。果。は  
念。仏。の。坊。主。よ。か。ら。り。て。先。の。世。で。よ。う。身。よ。あ。ら。る。よ。  
い。づ。ける。し。と。信。家。の。信。屋。と。い。は。れ。と。色。里。九。年。あ。ら。る。あ  
あ。この。物。換。り。も。い。利。は。な。る。と。ま。ま。よ。あ。け。や。町。と。ま。ま。れ。ば  
東。側。の。わ。げ。や。の。二。階。の。紙。屑。を。ま。り。延。紙。の。ま。ま。る。白  
色。の。玉。白。さ。筋。を。り。て。表。出。東。を。さ。ら。り。て。ひ。ち。あ。ら。る。ま。い  
身。代。記。を。と。見。わ。ら。ぬ。石。思。議。と。い。は。れ。ゆ。へ。方。よ。つ。て  
ゆ。け。は。ま。ま。通。り。の。近。の。の。お。ま。ま。子。孫。始。末。う。ま。ま。け。い。あ  
し。と。お。ま。ま。中。る。れ。あ。ま。ま。穂。よ。穂。さ。ら。る。ま。ま。座。に。親。に  
石。改。手。別。て。思。ひ。り。よ。踏。づ。ら。花。の。十。夜。盤。こ。ま。り





福

ふく  
あはれ  
のん  
び



わけを町



貧

かき  
おま  
び  
行







より。室町の帷布屋。二代つゞき。三代めを傳  
ふ。後之の果をけき。福津と入替り。惣代に業をい  
鴻原へ傳ひ奉りし。一日。秋宿。夜。後見て  
爰。又。現る。十。業。事。り。の。大。さ。つ。つ。よ。く。肉。死。よ  
う。め。し。福。第。の。書。の。付。存。よ。う。と。か。よ。皆。一。切。せ。ど  
は。以。我。と。合。点。して。荷。と。そ。う。う。ぬ。今。の。あ。お。し。さ。い  
業。獲。乃。細。り。り。い。終。て。今。の。肉。死。よ。尾。さ。う。へ。て。あ  
つ。の。ま。れ。ま。ん。よ。た。を。こ。切。して。朝。夕。の。體。り。を。そ。ね。い  
身。代。と。ん。ご。せ。し。り。り。あ。う。く。わ。げ。を。町。に。傳。は。し。て  
て。飛。り。あ。り。あ。り。の。日。の。神。柳。う。こ。さ。れ。ま。傳。は。し。て  
あ。り。て。を。を。あ。つ。て。あ。う。ふ。終。よ。う。せ。大。夫。の。業。を。へ。こ。う

と。ぐ。に。あ。ら。う。あ。ら。う。あ。ら。う。ま。ま。果。第。か。れ。あ。ら。う。て。果  
忍。ぶ。の。子。子。代。い。ご。う。あ。り。く。さ。い。か。く。容。忍。し。て  
啼。あ。く。と。の。の。用。休。え。ん。が。ま。ま。と。男。と。ま。く。初。め。あ  
と。と。い。ま。由。が。余。込。へ。あ。ら。う。付。い。ま。づ。う。少。神。死。を。後。つ  
り。て。我。ま。ら。う。出。ま。い。り。と。う。の。男。で。い。あ。ら。う。と。あ  
園。で。笑。合。と。あ。ら。う。た。て。ま。あ。ら。う。作。り。極。に。仕。掛。て  
あ。ら。う。死。つ。ら。い。あ。ら。う。ゆ。り。ま。せ。と。あ。ら。う。あ。ら。う。合。て。福。第。を  
合。く。と。二。夜。秘。文。と。あ。ら。う。又。え。の。黒。白。二。つ。れ。む。と。な。て。あ  
方。へ。死。去。し。い。奇。あ。ら。う。あ。ら。う

揚屋へまうの山と系をけ仕果

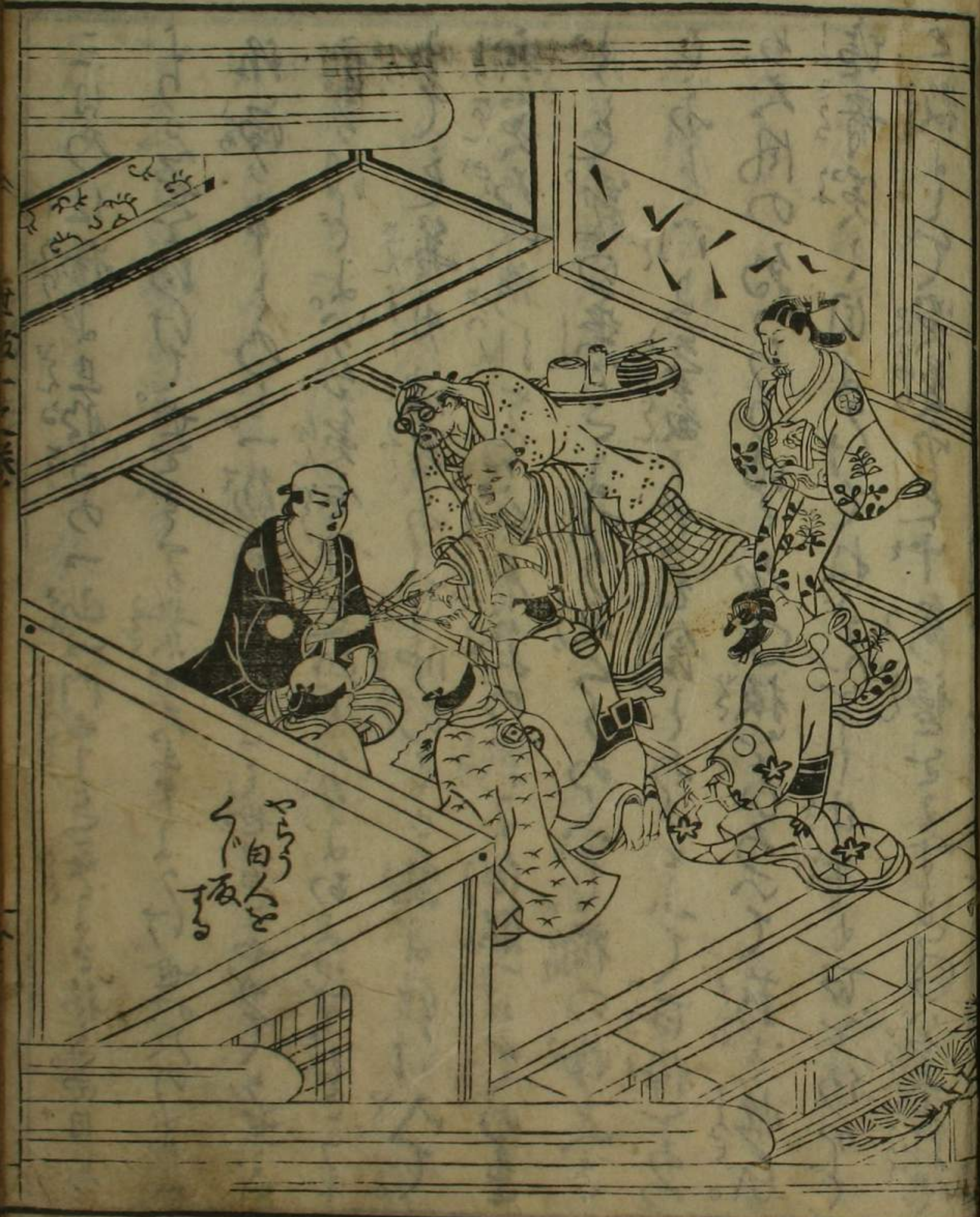
且。一。星。と。い。つ。て。空。あ。ら。う。酒。屋。の。ま。く。踏。ま。直。ひ。夕。ひ



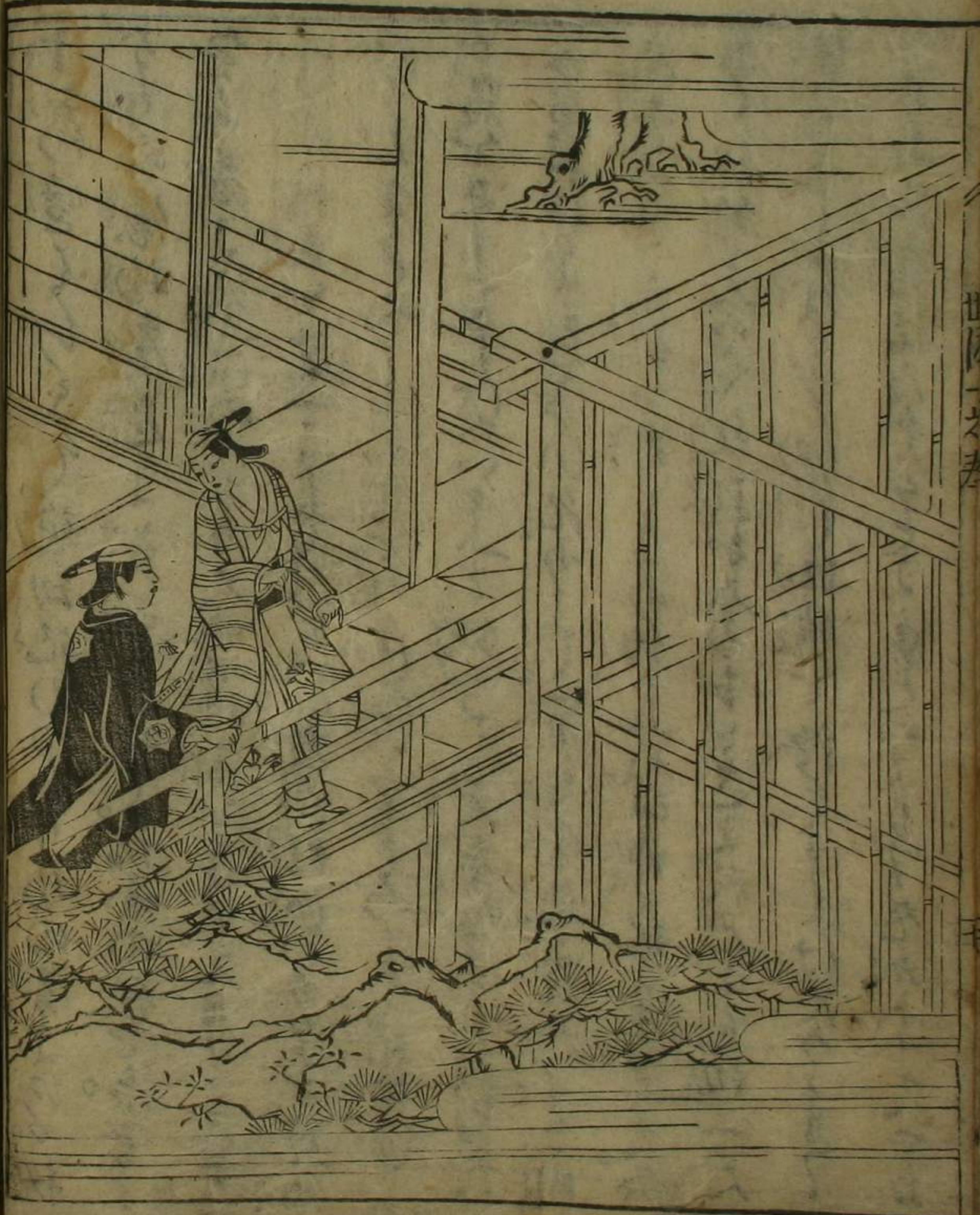
月よじりて系鞋をけり。推りゆく藁屑をえりつら  
て。猶五枚さし一極へあ付くつらさく後て。六百七拾えり  
とえり。小高いのりりそふか取と安んそ。耳極れあし  
て小糸をてして。次糸くし富きの身とかり。大文通りに居  
はせにる裏の形なりと廣さ細皮とりし。形よはるま  
ど。たどさくけして持女あつた。毛むのぬおしありして  
呼へてかきふぬあしらひしせび。ト女並よそくつらて。そ  
身とさけけし髪とあてつけつらむとわく。比ぶとさ  
本綿と淺黄し深藍色の袖の手とり片首をてして。今  
の類しははぐ。口糸乃板橋とあへてさす。をわかれた丹  
波口の西へゆす。るる東が職と大さしははと。懸しは

十病懸しはらそそ。菘切記のつとり物の湯よりの板  
かりの儀物度座し。美あつて。法承の秋と居なぐ  
なぐ。若し合治のいり大晦の丸園として。元日くそ白さ  
の中始末と申しして。たとへば夜乃形ひかりとそ。若  
醫志よくへりす。乳とれりかきさくす。比掛ゆふ  
が。若とさしてよびいふと必きと人參などりら。一  
子息を命しとてい死ありて。七十右来稀の持さ。同  
高貴の若死親とあし。あめりねば悍親し。まきりて。あ  
少くじやとあく。親れか入のち。きし。飛んとを切。一入  
笑く。そあさす。親仁地難と終てす。けたら。まき  
一可支。若法たきと。まきとわく。さす。丸たふして。やり





下白  
夜



世  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十



三日の仕揚は且ねさの山門中と云ふは後。四日あ  
 ちの世をゆけて世と云ふ業と云ふ事ゆけ。世れたの  
 派海り本と云ふ。一筋はれいこ。世をさやめてくせど  
 なるほどよ。いふ矣令非と云ふ男はかよあぶず。とこ  
 少てと舞月津界ゆで。ゆめさる氣はけ入て。  
 我矣ゆへ後引ん。紙屑舞の氣は白服つめてわき  
 ども。親の當さよつりえらあふて。梅の梅之さ  
 と。おと門よ立敷して。乞食とわらふて。右梅とわ  
 め。大向の船はらりゆく。板をひらいて。薪とゆひ  
 燈着。笑し目よけてねんて。中草と云ふ何れど  
 と教よして。笑あゆと十海。船と云ふ。いふ矣令非と

は舞月津と云ふ。こよはせ。道てあう。うす。を。後津の  
 手代が。我と一ふをこつ。世一。要と云まうて。後れつあ  
 家は。あう。と。鹿とや。千びん。が。ゆ。と。と。わ。る。五。松。衣。通  
 の。紙。子。屋。男。上。つ。と。と。負。せ。方。三。十。七。人。あ。合。と。と。よ。つ。て  
 は。米。を。煮。ち。命。と。米。代。を。貴。二。百。石。孫。自。あ。れ。が。賣。掛。乃  
 ち。と。て。中。居。り。回。交。ま。つ。る。板。と。換。の。は。が。あ。い。さ。は。弱  
 う。つ。け。込。で。今。よ。舞。台。の。花。さ。う。せん。と。ぶ。肩。さ。い。さ。と。花  
 あ。の。と。さ。さ。う。げ。は。ま。ま。と。と。う。ん。で。信。ひ。く。中。居。る。之。合  
 吟。味。じ。る。よ。ね。だ。ま。よ。と。な。れ。ば。家。城。よ。さ。貴。目。の。右。左。形  
 と。と。て。た。賣。ま。て。乃。乃。に。や。う。く。二。分。半。よ。ま。ま。と。と。い。ひ。い。し  
 ん。は。い。と。と。ま。う。右。左。形。と。と。坊。の。あ。う。ね。物。及。右。回。あ



かきつゝのりこさして紙子屋へおろすとつゝさうと後  
小取替屋に申るふで手紙の文帳さうで。毛は怪し  
よかよき。我よまうせんまへ。事よ紙よきせん。彼も紙  
を懐中し。紙りし紙の方へ。町中へ付居し。まうよ。紙向  
へと出づ。と。じつ。うかり。これ。信り。も。歴。の。案。人。親  
親のお物よ。近目出。まう。おら。う。う。の。室。中。あ  
かり。なら。で。い。紙。此。障。り。と。町。中。で。あ。ま。六。英。国。で。武。貴  
の。目。あ。て。ま。う。電。れ。ま。う。申。る。よ。い。拾。い。物。と。信。び。武。貴  
ま。う。ま。う。て。す。ま。う。控。物。ま。う。紙。と。ま。う。紙。の。大。あ。り。所  
働。ま。う。と。下。け。あ。い。申。る。事。合。割。付。て。紙。ん。と。ま。う。を。紙。の  
人。り。ま。う。い。紙。ま。う。の。が。獲。せ。事。い。あ。ま。う。か。び。ち。紙。が。紙。よ

かきつゝのりこさして紙子屋へおろすとつゝさうと後  
小取替屋に申るふで手紙の文帳さうで。毛は怪し  
よかよき。我よまうせんまへ。事よ紙よきせん。彼も紙  
を懐中し。紙りし紙の方へ。町中へ付居し。まうよ。紙向  
へと出づ。と。じつ。うかり。これ。信り。も。歴。の。案。人。親  
親のお物よ。近目出。まう。おら。う。う。の。室。中。あ  
かり。なら。で。い。紙。此。障。り。と。町。中。で。あ。ま。六。英。国。で。武。貴  
の。目。あ。て。ま。う。電。れ。ま。う。申。る。よ。い。拾。い。物。と。信。び。武。貴  
ま。う。ま。う。て。す。ま。う。控。物。ま。う。紙。と。ま。う。紙。の。大。あ。り。所  
働。ま。う。と。下。け。あ。い。申。る。事。合。割。付。て。紙。ん。と。ま。う。を。紙。の  
人。り。ま。う。い。紙。ま。う。の。が。獲。せ。事。い。あ。ま。う。か。び。ち。紙。が。紙。よ  
かきつゝのりこさして紙子屋へおろすとつゝさうと後  
小取替屋に申るふで手紙の文帳さうで。毛は怪し  
よかよき。我よまうせんまへ。事よ紙よきせん。彼も紙  
を懐中し。紙りし紙の方へ。町中へ付居し。まうよ。紙向  
へと出づ。と。じつ。うかり。これ。信り。も。歴。の。案。人。親  
親のお物よ。近目出。まう。おら。う。う。の。室。中。あ  
かり。なら。で。い。紙。此。障。り。と。町。中。で。あ。ま。六。英。国。で。武。貴  
の。目。あ。て。ま。う。電。れ。ま。う。申。る。よ。い。拾。い。物。と。信。び。武。貴  
ま。う。ま。う。て。す。ま。う。控。物。ま。う。紙。と。ま。う。紙。の。大。あ。り。所  
働。ま。う。と。下。け。あ。い。申。る。事。合。割。付。て。紙。ん。と。ま。う。を。紙。の  
人。り。ま。う。い。紙。ま。う。の。が。獲。せ。事。い。あ。ま。う。か。び。ち。紙。が。紙。よ



十七人車座より降り。門松様の用意をくまなくし。ひらりと  
裁し。あひだし。しるし目とて。西より。さけ。たぐい。事と  
世家の費圍。あし。入せよ。法を。きん。切。入れ。し  
けて。わら。材。も。や。の。手。代。の。ら。い。さ。み。紙。切。て。丸。め。檢。録。の。せ。し。出。さ  
き。の。葉。子。を。入。て。さ。わ。く。い。づ。き。と。ら。ふ。の。て。の。縁。を  
あ。じ。と。い。は。さ。れ。は。内。は。あ。ら。な。く。女。房。の。名。が。書。て。こ  
け。る。そ。よ。あ。わ。さ。つ。さ。な。い。う。さ。の。ら。く。つ。ま。し。て。こ。ご。ろ。て。若  
衣。の。ま。じ。り。南。は。ま。う。け。女。中。な。ま。じ。り。北。は。あ。の。こ。い。ひ。さ。い。ま。の  
う。り。と。詞。さ。つ。さ。さ。い。あ。の。世。の。ま。は。足。踏。で。ん。で。わ。ら。あ。や。ら。ま  
よ。備。殊。較。け。は。さ。ぐ。く。人。の。り。ま。ん。ぐ。ら。よ。あ。か。つ。と。た。り  
を。れ。つ。の。小。か。つ。る。ま。ま。の。ね。と。さ。ら。ぬ。ま。う。へ。あ。わ。さ。つ。と。小

張。と。つ。つ。い。く。ひ。ど。を。り。う。い。れ。白。人。の。席。中。と。出。る。男  
よ。あ。さ。つ。て。ま。の。り。あ。い。ま。さ。さ。く。よ。こ。ご。ろ。中。よ。と。い。れ  
て。一。拜。目。と。つ。け。て。わ。ら。小。い。と。い。は。白。人。さ。ら。ぬ。ま。ま。の  
あ。を。あ。が。れ。わ。さ。つ。ね。と。ま。わ。り。ま。の。と。う。ま。ま。が。り。ぬ。  
あ。を。あ。が。れ。あ。い。ま。さ。つ。り。あ。ら。と。あ。て。の。さ。つ。り。は。合。と。い。は。ぬ。  
を。あ。さ。つ。い。あ。い。れ。さ。つ。女。房。の。あ。い。ま。さ。つ。の。字。と。あ。ら。ぬ。男。今。ま  
ら。と。い。れ。張。衣。を。あ。い。ま。さ。つ。て。ね。て。さ。つ。は。女。と。い。は。る。あ。世。の  
さ。つ。さ。つ。い。女。と。ま。の。あ。い。ま。さ。つ。の。氣。と。さ。つ。す。い。ん。ま。の  
い。は。男。と。ま。よ。入。て。又。あ。い。ま。さ。つ。の。氣。と。さ。つ。白。布。の。鼻。紙。の  
と。い。れ。を。あ。て。り。ま。の。を。あ。い。ま。さ。つ。と。い。は。る。あ。さ。つ。け。ぬ。  
の。の。て。ま。の。り。毎。日。か。い。ま。さ。つ。は。あ。い。ま。さ。つ。の。髪。結。く

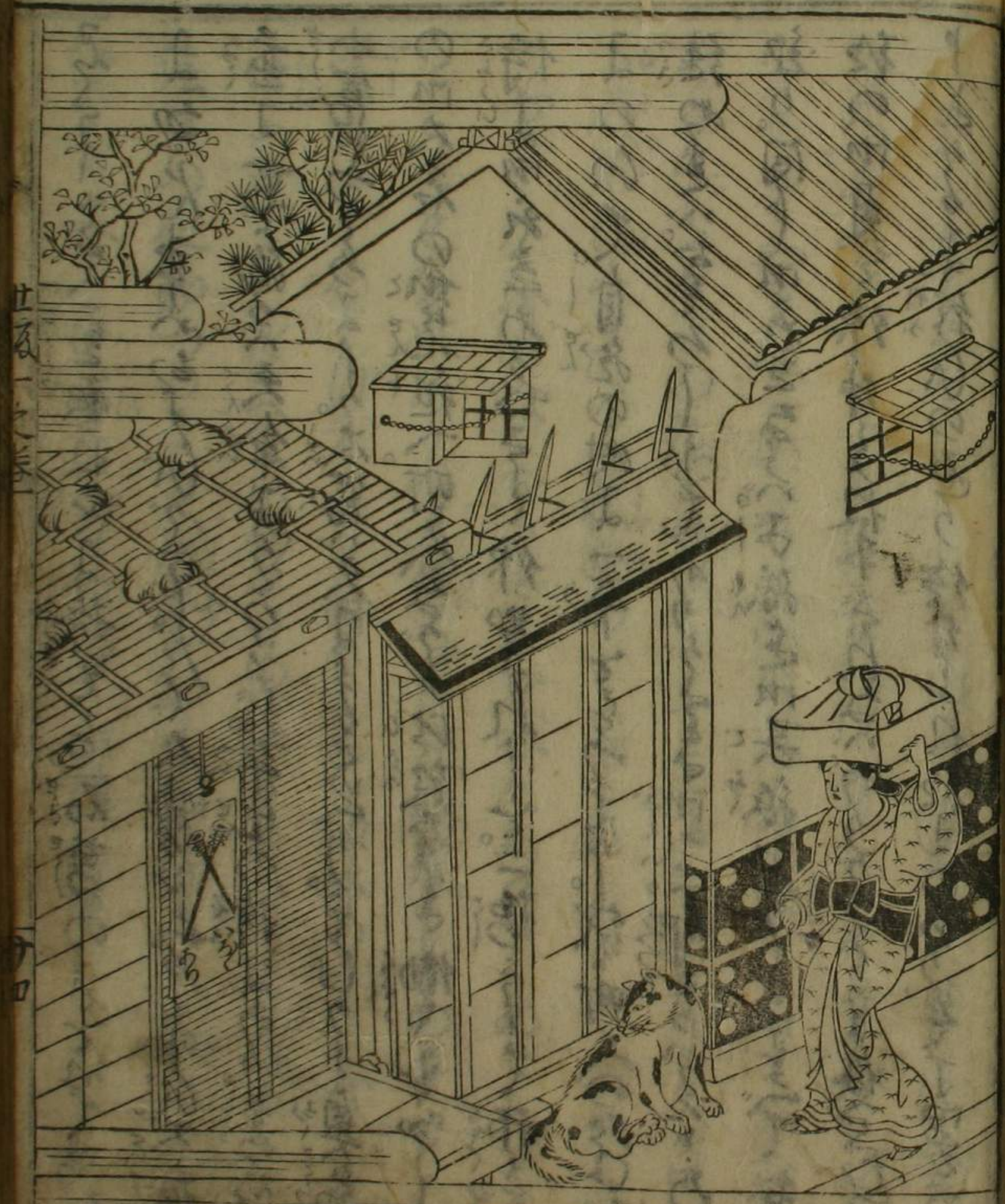














るくしとて。高敷ねごよ抹ても。石高の身をもて松枝  
よのりん事いひびごう。たゞ大晦りせうしまた大抵  
並し世と海らへ天命よりつゞも。平生の抹はわり。定て  
小富へつとありよ。大富の夫よりつゞり。まじりー奥筋  
の山人名の山先祖へ町人なごうは此かき働こをかし。  
侍よぬれさわるへさく作せられと。二働うて邪く  
よのひて。自然の村よ一命とらつる事。代町人のたひと  
徒ぬまへおもしろく。わりごさくぬき都るくう。乃  
並り。同じぬれさるへ子孫とぬ長旅とらう。こゝて  
朝の山月を伴付られ下されなへわりごさくも存へし  
りともるよ。彩ひの通り終付られ朝よのかりそ丁四方の

屋敷とりとめ。それより代々山月守りて。目とに榮へ  
持丸長三郎とて。名名ニテ侍よられたり。名も  
くじうらやまぬどのへり。け長者とぬ隣よ一寸糸(糸)  
おこんでるこの絵とま。一う十と申せで女まうねと  
るぬ不の書てわが親世の十の百ものとさけど。つわよ百  
つるぶつう後のねごごこと見ど。今もあつと死てし世よ  
とらうと念れおらぬ身俵なりしが。親代りうの負苦の  
業色りもやとげらるす時とて。後林のま子代。十落  
登の糞まんを久よけつこの絵まあふのりまふと。  
絵本の仁助つわよのいふ案お尋。我けま死てへ人  
へはまをへー甲斐へあつ。つづくけ隣の長者とのをるよ。



























高人の母抱月村の天祇社基

一生つらき事かぬ方なぐ肉體を無用  
おはるの三歳後念心新田を氣に切れた  
若れ親今の業力をせぬ世に世に

金瓶玉露の酒を存家

子作の子は酒會の強良人  
悪者より持とせよ呼入る花あこ

十通此艱難は枝葉さるる枝を

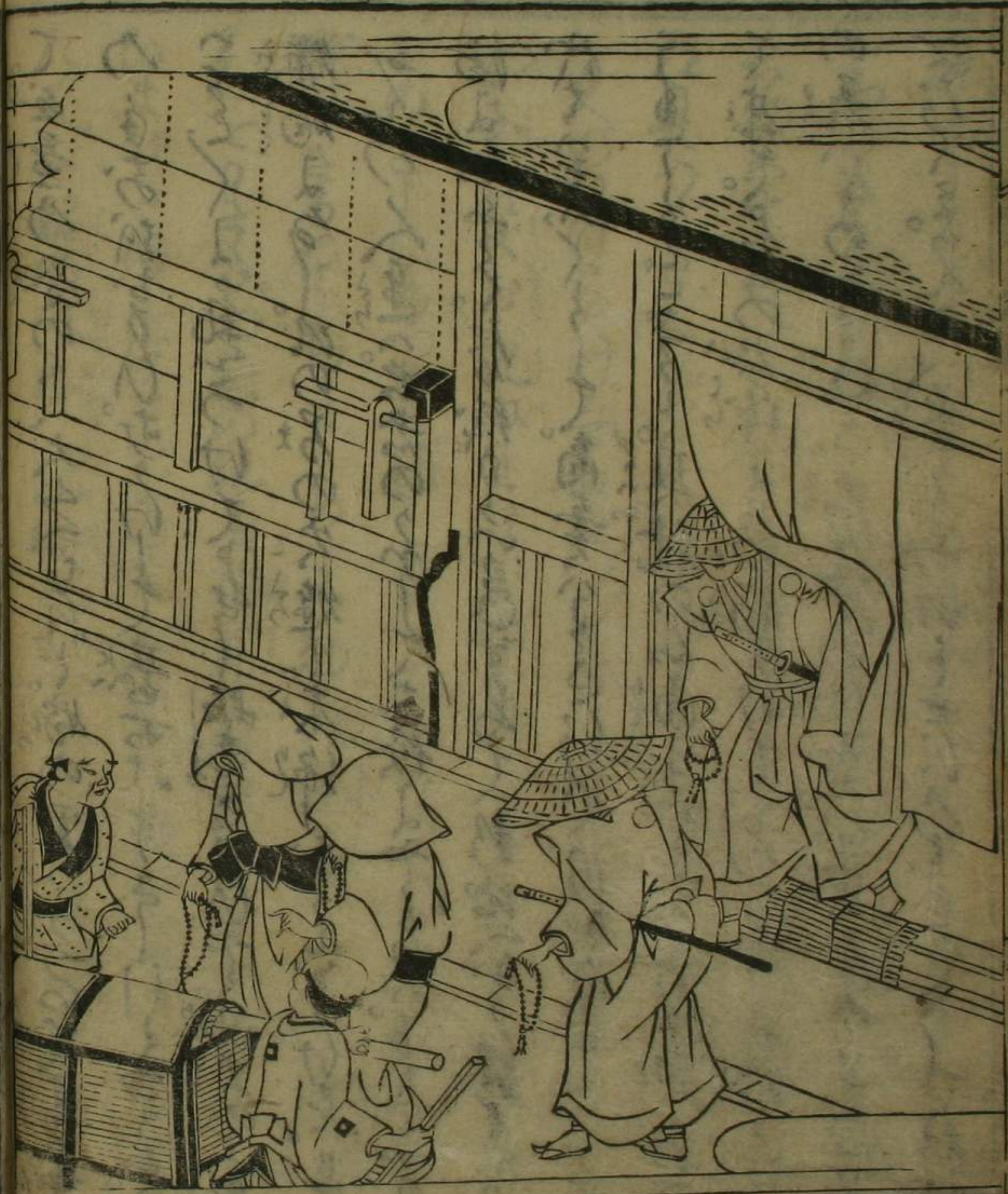
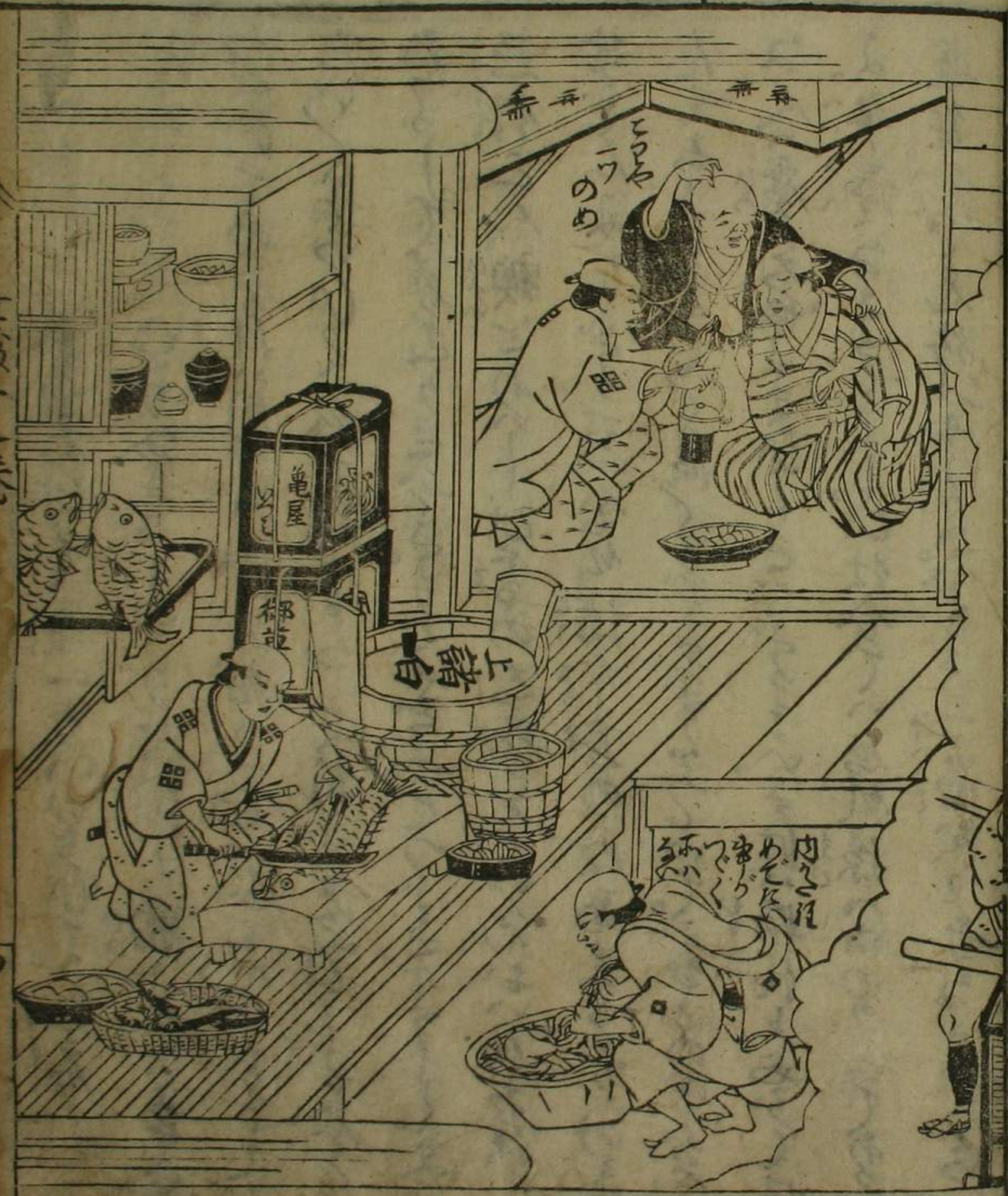
懐び懐て十病纏の粒粒な液

世の中は月出交事べりううあると難儀のひらるれば  
わのこ小めでさくともよはらふもあてても可又懸事  
のつごまて懐びよあつ事あてびじやけりあま事あも  
わらど長場の流連の来よ本房心の材本世せ歴く主婦  
堅固めで子たみ人り通しに先懸候よ嫁とよひし  
婚礼の儀式さすか株のさくさかどわりて難儀中の評判  
よのらぶの死懸なる流連に新造の出入るるか船中の  
苦行がりよ早夷月の入用もよあざうて花をれ入  
り何れぞいし事とあつど海濱とあ紙さへ大かの手をり  
町中交連念仏海の中を清り利急所交に漸が











うけおつがひ女房とあけて後一とわきびて。お慶まじい  
と人のいざなひをうめむと。あうりたの時胸よおさそて笑ひ  
つらひておられた。肉のあまう入る。喜おどんくとして。そ  
たのくといひて終て。いともかよ目よらんくとして。今程  
なう。一とあとういふ。いふもやぶとつとて。ま婦  
お終三人類とわい。げ言の志まとのいおほお終して  
物とんよい。さうとて念仏講中房のたあまれ。人のまげ  
んとあう。さうとて。長くあて。ま事つて。いふ。このやうが黒執  
二人の度い。取まひり。ごごうま。さけ。お終とやうて。終  
よ。平屋あまう。う。げ。仕合。い。お終。孫。八。田。男。子。で。あ。じ。  
追付。あ。て。え。終。あ。や。よ。今。夜。へ。一。應。お。と。井。あ。れ。よ。と。い。は。い。

おやうにがの終として。やくりのる。目おなま。よ。飽。飯。一  
て。振。舞。う。が。し。な。さ。う。つ。ら。す。す。ら。う。ど。娘。が。平。屋。う。う。  
た。念。仏。講。中。へ。う。く。と。て。下。され。准。あ。つ。て。い。て。や。く。ゆ。と。て。  
ね。は。と。た。い。て。あ。で。た。の。事。と。い。ら。ふ。の。こと。も。お。終。あ。し。く。と。  
い。終。い。び。却。が。今。あ。て。た。い。る。う。ぐ。あ。あ。て。と。う。と。親。子。二。人。  
い。ひ。ひ。と。い。や。され。ぬ。あ。う。い。の。目。お。あ。ま。う。い。つ。く。と。い。は。い。の。  
始。ま。う。一。又。依。り。町。よ。る。お。あ。う。あ。い。と。う。く。の。見。氣。合。場。あ。て。  
い。づ。う。二。時。中。う。う。つ。お。ふ。と。う。あ。う。あ。れ。て。い。子。と。あ。く。あ。あ。の。  
あ。あ。い。つ。な。さ。れ。て。お。あ。う。の。か。く。い。の。づ。う。う。あ。あ。が。あ。あ。の。い。  
あ。あ。う。け。て。八。指。黄。目。へ。う。う。あ。う。あ。の。あ。あ。の。物。が。あ。あ。い。ひ。て。  
い。か。あ。あ。よ。福。ん。と。入。て。二十。五。日。の。あ。あ。よ。あ。あ。町。の。あ。あ。い。

お終

五











ましてまじきものう。只今はお下さるべし。さうだがありて戸がど  
 よ。是のあつてあつたんと今そとへゆくべしと。乳母を又一人の中  
 よ。四百貫目の額合より多きてのしゆり去る年を改めつゝある  
 のよと貴育しては家として二軒三軒の店のせよと。ひりり  
 やつておまじの信のつこつてあつた。さうしては身伴も家試け  
 て。六六子あといはれ家事。あつたといふ所の質外あつた。形  
 見よ。お町の小倉あつて。おんよとまじ。まじと死せよ。お  
 うらうら。お物の胸茶用か。お物あつてあつた。いんでゆき。お  
 びし。おのれとあつて。おんよとまじ。おのれとまじ。おのれとまじ。  
 おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 の。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 へおまへ。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 つま。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 怖たれ。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 る事と。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 利で。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 た。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 うし。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 ざり。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 の。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 ぬ。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。  
 と。おのれとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。おんよとまじ。



ふせ。向はあれたるのしるゝとあつて。張の何やとていふも、あ  
 らんどもや。ありうかりふてなるとなれとてつひといふ  
 おとといふまねを尾百貫目のおと三格目までとふぞ。あ  
 らやうとてさうり述べてさゆり。ねとてやうや。此事よわや。  
 一うおておしるねふは合。おえ用の形かんとさうとて出入大  
 一からかへて。さうして熱氣なるて力をかたうね

商人の母物目利ハ大志の基

ふせ世界よじまきあつて代の事と又格年おつてさめあき美  
 利。是はね。ねとて。同じ調子よらぬもの也。お格あり  
 よ方屋の支物とて。おの親とてさしてお財けして。八百貫目余お  
 へらうとて一人して濃とてけられ。親又とあ言格系へ濃屋











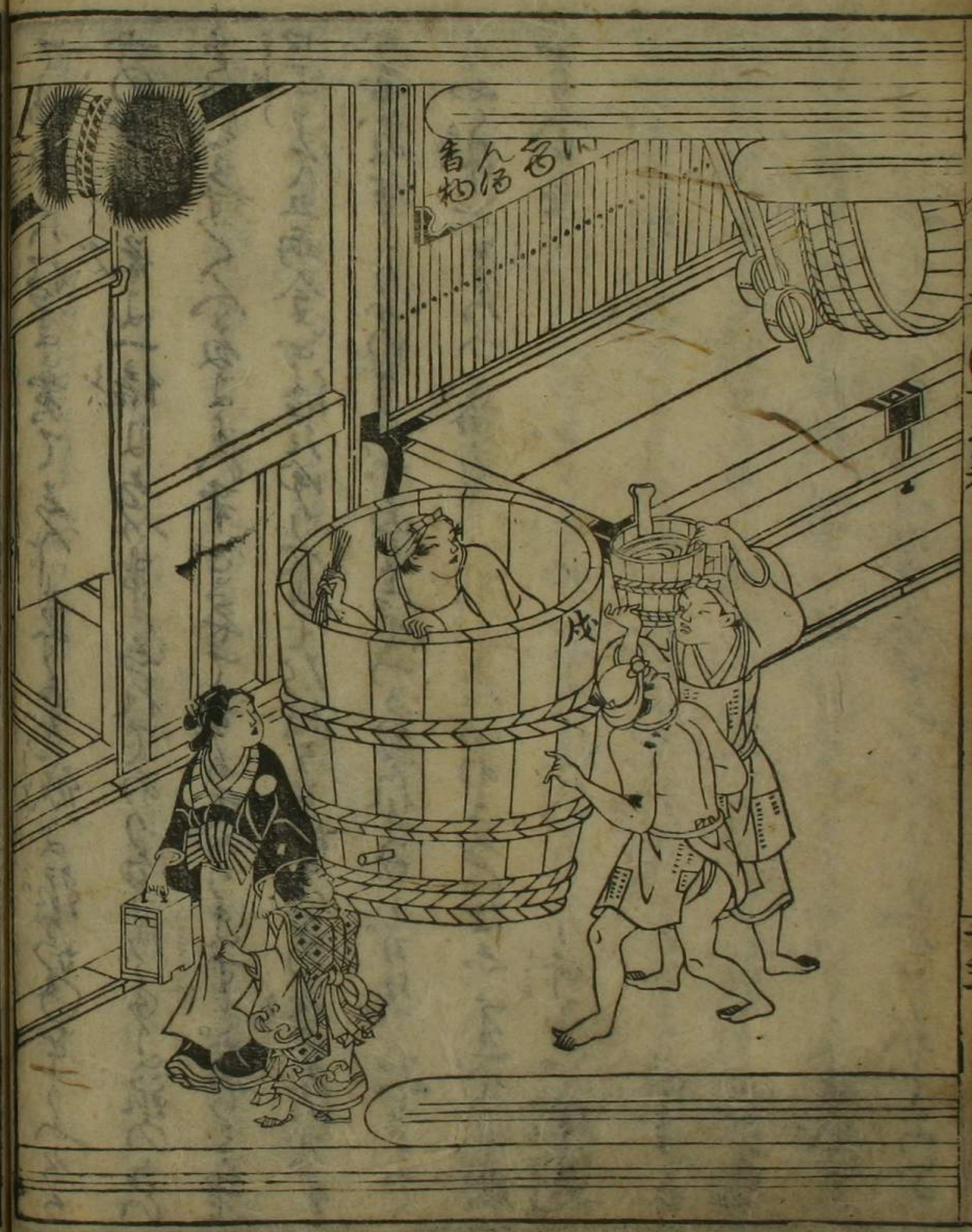
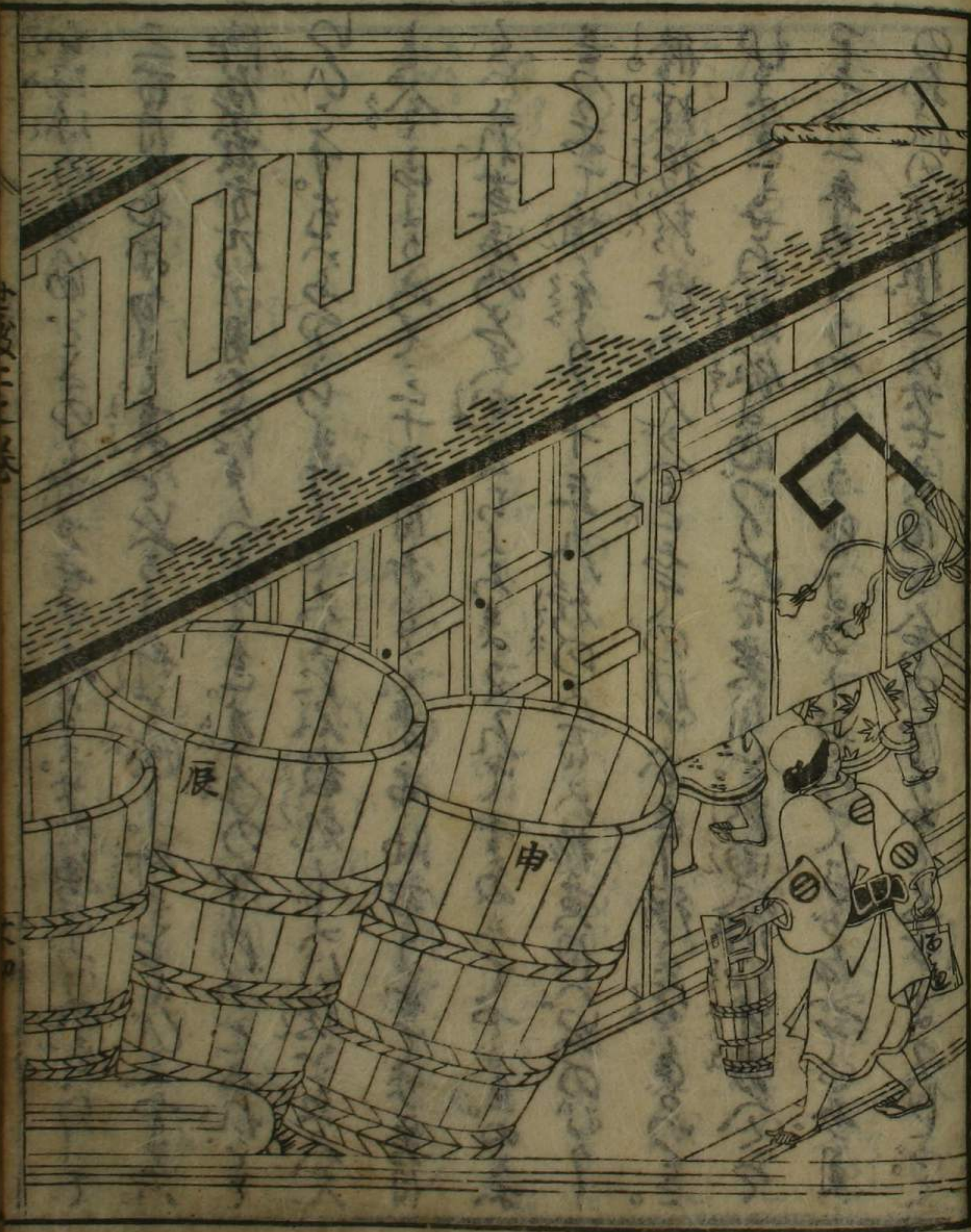


















屋といふの地帯より下よからなる所をありし亭に酒家よむる事  
 あるを果敢く大に戸を又解つこの事。是より九色酒の可よ  
 びていざらん事とす。櫛の赤よの賣場の妙もかく。とそまが  
 体乃西の錦とくことよ。不のぶ若生よて。故死とすまはる。妻子  
 本大に借紙とかけとを儀うて。世とさすまぬ。おま人の別  
 体死なぬ。あれたぬ。そのま。いは家半よたるぬ。身か。はまは  
 中しむら心で。兄弟の子たをのりま。人のう。こ。ぬ。が。ら。な。敷。と。何  
 白粉おとけけと。藤の布子よ。男と女の。縁今う。この。年。く  
 物とま。た。あ。ら。う。ら。う。お。社。た。よ。家。の。目。れ。た。を。取。と。あ。げ。て。願。を。方  
 志つと何。自分家くへ。お。り。て。信。を。び。れ。か。と。ん。世。の。鬼。も。か  
 くてい。る。一。く。お。ひ。賣。立。て。十。家。登。一。て。み。ま。ぶ。世。も。ま。い。と  
 わ。ら。は。ら。ま。さ。ち。の。い。て。家。と。中。か。を。く。ふ。ま。の。い。す。ま。か。ん。して  
 と。角。ら。ま。は。ば。家。扱。て。立。論。り。兄。弟。の。子。た。が。神。と。な。る。よ。今。と。業  
 記。よ。と。し。ら。し。の。の。れ。が。十。十。二。は。女。と。人。を。ま。り。て。さ。う。一。人。あり  
 の。り。し。小。女。ま。に。ん。地。よ。う。て。か。と。ま。よ。と。う。ん。え。ん。と。ま。ん。ぶ。は。り。よ。  
 ば。ぬ。よ。と。か。と。そ。の。始。後。に。け。ら。が。あ。ら。う。も。何。と。を。我。身。を。あ。ら  
 う。ら。に。あ。て。び。う。の。ま。か。が。の。酒。を。よ。れ。た。い。の。の。の。の。の。の。の。  
 弟。い。と。さ。と。ま。ご。と。あ。り。と。え。ま。あ。ら。れ。ば。海。邊。へ。と。事。も。あ。ら。う。  
 弟。は。又。兄。弟。を。た。い。ご。一。も。一。と。さ。う。と。業。耀。よ。ら。う。ら。か。の。こ。い。よ  
 町。も。い。人。と。う。お。あ。さ。う。は。は。親。と。も。あ。か。り。自。由。よ。う。あ。ら。う。は。  
 せ。めて。た。め。を。う。て。ん。よ。あ。て。た。へ。今。かり。と。必。業。と。さ。り。あ。て。ん。と。鬼  
 の。よ。く。と。う。て。兄。弟。の。子。た。が。思。ひ。の。信。の。お。社。と。本。縁。お。よ。と。せ。ん。

乙 卯

廿



本町と伏見堀乃名前の持主と酒をへ十年の通とて兄弟が  
がうてつらなまよやまこーがうりす時よつて二人のまよひつひの今  
そらたら酒やへなるよかり人の通真抄雜子そ外の義とん  
かうせよかりよあつて酒分ち者あつて下は廻りて後次がきよ入  
酒の造りやうとらんまへしてそまがりとよまよるへ。發分らう  
しんまは供えや一茶法住よおしてふの事とんかよてあまゆ  
が高よあし。赤吹り記とじ胸もふれとんかよ。不次よじとん  
て。酒と荷あひ賣よ出ると橋とた。廻り事と悟よ入ま分ちあふん  
ふ御さとそら人よらうにそらつらと。香にたかひての高ひ  
の方よいりいふのあまはあまも今母がいふ事と母よらと  
おさめていひぬりよ奉公つとあよ。十年らたたら母がえよと

しんまは供えや一茶法住よおしてふの事とんかよてあまゆ  
が高よあし。赤吹り記とじ胸もふれとんかよ。不次よじとん  
て。酒と荷あひ賣よ出ると橋とた。廻り事と悟よ入ま分ちあふん  
ふ御さとそら人よらうにそらつらと。香にたかひての高ひ  
の方よいりいふのあまはあまも今母がいふ事と母よらと  
おさめていひぬりよ奉公つとあよ。十年らたたら母がえよと  
しんまは供えや一茶法住よおしてふの事とんかよてあまゆ  
が高よあし。赤吹り記とじ胸もふれとんかよ。不次よじとん  
て。酒と荷あひ賣よ出ると橋とた。廻り事と悟よ入ま分ちあふん  
ふ御さとそら人よらうにそらつらと。香にたかひての高ひ  
の方よいりいふのあまはあまも今母がいふ事と母よらと  
おさめていひぬりよ奉公つとあよ。十年らたたら母がえよと  
しんまは供えや一茶法住よおしてふの事とんかよてあまゆ  
が高よあし。赤吹り記とじ胸もふれとんかよ。不次よじとん  
て。酒と荷あひ賣よ出ると橋とた。廻り事と悟よ入ま分ちあふん  
ふ御さとそら人よらうにそらつらと。香にたかひての高ひ  
の方よいりいふのあまはあまも今母がいふ事と母よらと  
おさめていひぬりよ奉公つとあよ。十年らたたら母がえよと











利の事を推して梅下うらみ

次くよきれさるる金座が別上

氏神の示現一息のらごそ大此き力

古への小判の取り花巻よけまきおはび

取付の細き汁が換りて金の心

而姓切よるるまがま年れ仕出ーお派

法華の渡世坊よりよ休てそ是市算

赤りの世て世る鼻れひの天物あはじ

渡世のあむりるぬあが替あはれ

長袖若狭多法若買とく金座金座うける世のすくえ

此の商人の信小買のありと交る物と知るごとく

縁は抱こそのよりの事さそく人の仕合よりかんて言

あそりのりびごとく金座不仁りてあのおへりてあ

賣のきれなまきとく入集こ替せひあけまわすの持ぬ

そのい未代とも多てらり。持こそのの万年してしつたれぬ

とるるれ今の世らとるに根生れ此れかひ出よかりらり

多代小若わりの大庭あのとてあてま取中て山さ

うこそ能る能らそそり。物まへえあそそあむわ

程まがくしてわらなせとこれらうづきあぬ金座とよ



づゝよひとりとあつまわりをふかく商人の内甲とんくまぬ振  
 一平生表向のどんが大事かり。高賣をひらくせんといひ  
 やさげよめもふも。肉體をえらぐれていやく一日もたらずと  
 一。世のわらわら系屋家な馬として江戸本町二丁目。地は商人  
 そのじりへらぶれ継系よりのがり初て。今又方支とをふよ  
 っくと振とさす。一年増ふ人とかつて。高ひもひらく世盛  
 の時よあつて法神しての十徳。名を宗入とよぶ。熱心な者  
 宗入宗哲とよそ。二男宗助も高賣をこの高ひ。三男宗  
 三郎も寺方と。そとくよ高賣れた箱とほけ。いつまも高賣  
 けて宗入の勝と信義よ進。他人もせ平に打難子とよ  
 せて。宗入の所と老の欽樂つる年れうらまきものもあつね  
 めのたふれらり。風心とよそ。一の半れ燃焼く。よく医術  
 とほくす。高賣もあつて。宗入の抱よ。二人の子もさぐん  
 やとどうくひらる。又もあつて。高賣人の病家と他人よんせ  
 孝りいひる。まきものあり。かゝ時高よい。高賣子なる。そいはの  
 一。宗入浮世のうらとかりひさごめ。高賣のこえんと。二人  
 の子もどらかくを。適ひはれ。高賣を志して。我は交絶命われ  
 ぶ。高賣外にあり。兄宗を馬と親にして。我もあつて。ひ  
 ごとく。とよそ。もそびく。高賣れ。高賣りとおひま。す。見  
 分り。高賣の抱へ金銀なり。我も高賣の時。うらまうけあ。高賣  
 に高賣て。外らり。れ。か。も。つ。よ。い。高賣。あ。と。あ。づ。さ。や。う。に。ん。西  
 高。高賣先と。して。た。の。も。く。高賣。を。れ。ど。人。よ。い。き。つ。























事實廻一自中になり。其時どうしあへるべしと。其のいひり  
しにりやうとも廣く。内流のどい婦人細くおとけま。可々  
始末とつていられ。内流秘らあやとを。計畧のあつた  
分と。名をへありて。二男宗二部。宗系親ひよ。ゆつと合を  
万友とつたのあふぬとを。のうとを流ひとさけらふ。  
手遣へて。借合とせり。うり。何れ私とせられ。あつて。し  
あぬとつ。細高の沖橋よつて。返拂すと。あ人紐とへて。  
け。此の戸と。宗三と。返出ぬま。然も子とみら。宗親よ  
と。あつと。うり。あら。熱性志ゆよ。二十に。あつまで。流り  
合とわと。あつとの。返出むと。と。ゆつと。親と  
あり。い。あ。ぬ。が。佛。極。系。の。あ。つ。う。あ。あ。て。あ。つ。と。へ。と。

二男宗三よ。合か。い。た。う。若。た。へ。元。来。無。而。合。ら。ま。い。り。内。流。は。く。よ  
て。流。判。も。あ。り。勿。論。の。時。分。先。宗。系。集。へ。一。そ。の。さ。げ。を。せ。ひ。り。  
お。手。に。て。表。向。へ。と。あ。つ。ま。じ。肝。心。の。か。ん。あ。つ。と。い。は。さ。い。れ  
と。わ。ら。ふ。節。も。あ。つ。て。合。計。の。換。入。を。あ。つ。の。流。判。も。あ。つ。て。  
て。果。々。り。か。つ。て。宗。三。の。方。へ。の。り。け。い。小。肌。よ。つ。け。ら。う。百。あ。り  
合。を。以。て。耕。り。て。産。物。高。い。と。う。ん。と。同。じ。と。て。長。持。へ。ら。う。  
系。親。の。物。を。買。込。三。年。づ。り。通。ふ。う。ら。に。長。く。と。あ。り。を。あ。つ。て。六  
年。づ。り。あ。一。万。兩。の。小。判。と。して。江戸。へ。ゆ。つ。び。を。あ。つ。ま。い。り。宗。系。親  
悦。ひ。先。無。而。合。の。借。合。を。入。利。分。と。して。り。ゆ。つ。て。元。合。流。う。次  
と。ま。い。り。親。父。ん。と。う。ま。て。う。り。つ。か。は。内。流。の。尾。と。み。ま。い。り。世。間。  
化。と。い。て。い。家。と。う。て。る。と。せ。い。ひ。と。い。ふ。二。男。が。働。む。か。

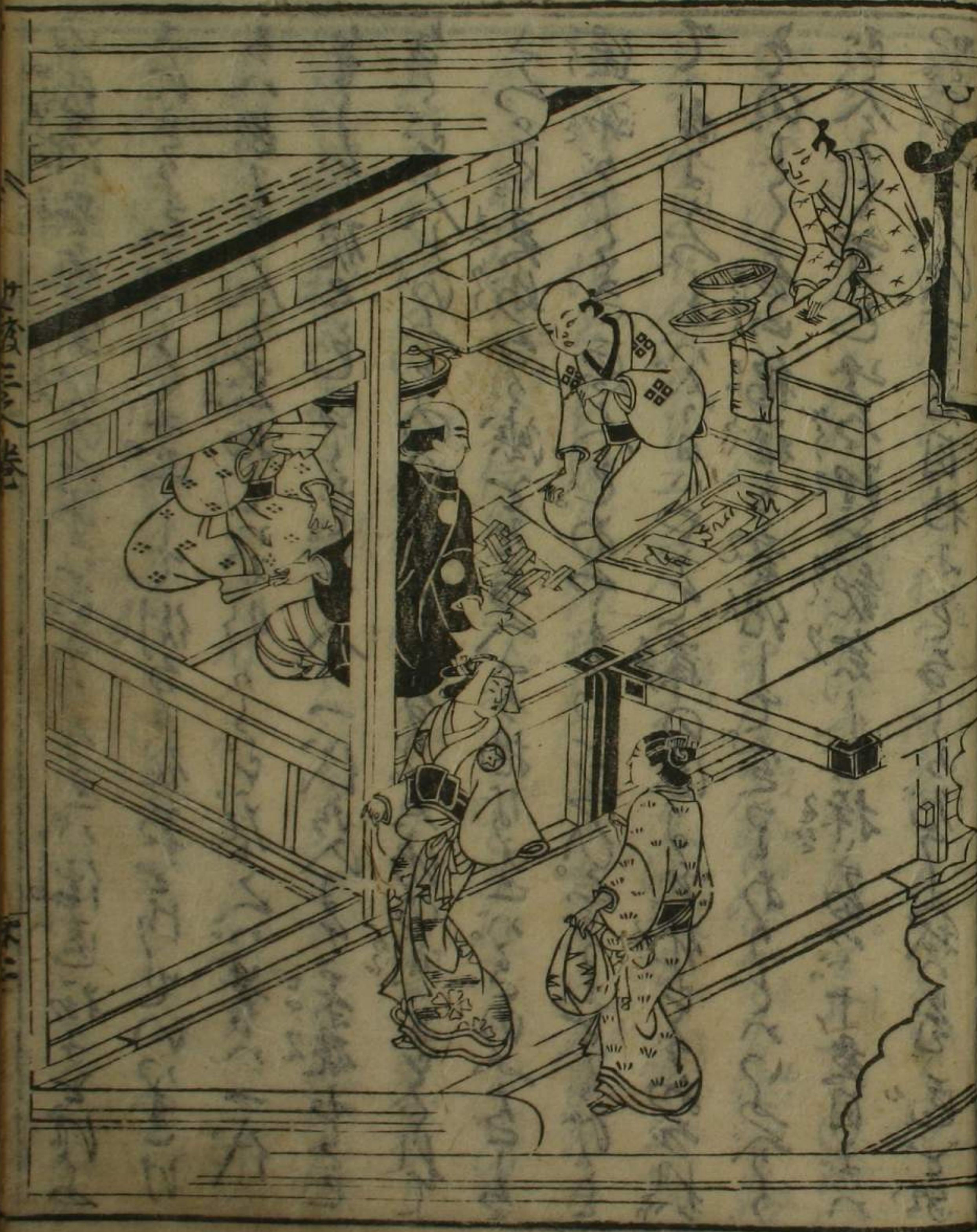






















去て賣拂。を申してよりと儀と換わつて。俄に河方海  
右の。よりし物てわくも無う此よりして。せしむけ。合  
持ぬ縁人十二三ありて。又て母りぬ。か。万事よん。誠  
つけ。ぬけぬ。あきやに。持る。祈ふ。此。東くよ。合。報。仕  
お。来。一。万。両。金。事。ありて。ほびの。帆。と。あげ。あ。う。び。都。へ。立  
ゆり。東。河。邊。の。じ。い。れ。家。と。又。異。目。つけ。増。て。實。居。し  
申。終。一。万。兩。金。事。と。い。ふ。の。う。ま。ん。と。さ。う。が。し。妻。子。の。あ  
と。と。この。い。く。く。く。と。な。れ。た。一。夜。お。ち。あ。ま。さ。な。く。の。報。難  
と。せ。り。の。あ。り。て。千。金。と。金。と。者。と。後。世。と。大。事。よ。か  
けて。たま。う。ん。持。る。あ。の。い。い。く。報。は。増。日。一。務。今。報。代  
着。ま。ら。あ。て。子。九。百。人。と。も。あ。く。は。持。と。あ。く。金。一。萬。一。堂

と申系。ま。誰。あ。ぬ。もの。も。あ。く。町。人。の。鑑。と。あ。り。幸。と。う。つ  
ま。下。村。分。か。り。ぬ。と。妻。子。と。と。て。も。あ。ま。さ。な。く。此。町。あ。ま。さ。な。く  
化。必。と。終。て。あ。ま。さ。な。く。三。分。す。た。人。の。あ。ま。さ。な。く。報。難。と。感。ト  
ぬ。熱。ト。て。人。の。あ。ま。さ。な。く。あ。の。い。い。く。報。は。増。日。一。務。今。報。代  
よ。あ。れ。い。い。く。と。あ。ま。さ。な。く。妻。子。に。い。ひ。い。れ。て。も。あ  
と。ゆ。い。あ。ま。さ。な。く。今。あ。ま。さ。な。く。同。一。あ。ま。さ。な。く。う。れ  
住。居。と。あ。り。人。の。あ。ま。さ。な。く。報。難。の。か。と。あ。ま。さ。な。く。あ。ま  
も。わ。く。恥。と。い。ふ。と。あ。ま。さ。な。く。あ。の。い。い。く。報。は。増。日。一。務。今。報。代  
ご。あ。り。女。房。子。よ。と。締。と。か。う。せ。あ。ま。さ。な。く。あ。の。い。い。く。報。は。増。日。一。務。今。報。代  
一。物。持。と。あ。り。人。の。あ。ま。さ。な。く。報。難。の。か。と。あ。ま。さ。な。く。あ。ま  
あ。ま。さ。な。く。報。難。の。か。と。あ。ま。さ。な。く。あ。の。い。い。く。報。は。増。日。一。務。今。報。代

糸付の細針が積つて令の山



















わの附ハ信頼もつた多しとて俄に娘も取られぬとく又  
向ふとてかまらばよ形も事とせらるわまは仕あし分別  
て見らゆと我らと下りあり舞の登正月の祝物も言がら  
孫も先有控の方れおあうか神の古事や一婦乃ぬのけうへと  
なり。妹の物といとるこり交は牙も法分株の言いし舞法  
の言は撰りてらるべし。主婦乃申してつまぐ。主分おと。舞う  
魚と事してと事と婦は銀拾貫目けり。赤世のともう物れお神  
づりつので古事(善)まぬ妹の母の湯とらるうん。名也の  
悪事より此法悪し悪男が事と事まに。五年たぬうらに婦舞  
へ。定可し家とりとめて絹布屋ととま。妹舞へ小籠と物舞  
しおわげ。たまかおらり舞のりて。母の産大をといひたて  
ら。是はまかりのや次懐あてわされて事とあがらておまは  
くも見ぬ後ゆひ控て季時とゆこと出てゆま。か益ので  
とくありおおま夫婦がら悪事地さあておうぬ。母やハ毒  
とらとて。もかとい内訌のりらとと。あずけ居るとい事がある  
物と。娘まらうてやうくと親父あてかといふに妹も知事まの  
わら。ととと。例は信頼の言。善し乃見まのこれ社会とて。か  
け友派十貫目舞本合力して。そ舞りに妹とらうてた。まこと。改  
めしてた。ま。とくに以家歌。此法善極(由)を言ふ。おとれぬ。えん  
の舞。か。い。い。一。横妻目。ま。家。を。と。て。お。と。ま。事。か。た。は。定  
規。ふ。出。派。飯。と。あ。て。曲。物。ふ。う。う。十。六。五。乃。本。れ。と。入。在。れ。ま。に  
維。と。と。ら。て。ま。事。が。ゆ。う。舞。ま。ふ。し。て。大。物。の。あ。ら。し。り。舞。

世は...

...



乃のひとときとせしと古きやつゆきし一帰順今年廿五  
の元まよりとて八幡の美徳宗地の内々うみく我祝言の耐分  
純り玉の珠よけをうくと。心弁まてわねと恨し。今れあり  
がこと親の所教はまわの乃親は濃長して下向せしまね

世渡軍配圖三之巻

商人軍配圖卷之四

目錄

美祿の意嘆おし身代

天祥よ歸の菓うけり長巻

一重二重のいし実色れどつ換

身小つぬ合の合場て御幸る世渡り



こまの悪業より移る言は其の酒とぞん

親先の火種あつてうか固焼し

生もつ果珠ハ親の力でとるおぼ世

我の借トて世とふい切替

ふまの頭よざら紙屋の仕合

賣とい氣う掛てやる紙屋をせ

身押へじ扇を賣つぐの文産業

女是るもけらじ商人の手紙

貧福の花笑ふの兄弟が身体

死生命のり富貴天よけりとハ孔子の語なり。終るとして西の

人の生死ハ命ありとて平生嬉酒のころ身とあり。毒臭と

ぬちごとくもさす。長く抹てんそ色あつた紙のちぬと天

命といふもさす。おのひろさんの親父仕合の時とぬて

千里一らの冥世物より大かれ紙と酒。二人の子たは徳と

くいせとさす。ぬえ甚右よりそ方あひらかす。びり小判の

後河町の申書よつて仕合の両替見せとゆぐれ申甚九郎

よハ成百美目。人あよりさす。ぬ吹初乃白紙町。家と流てさす



されど。御子一兄の甚者大船よじりつらて。親父の何ぞめて  
冥途物よのりや。諸ごうけり。まゝ事とら。此らと事よ  
ない。おのまゝ運の親や。た生もつらぬ。肩とあつと。諸小  
判板の糸と買ふ。そい。夏のうらぬ。暑熱のい。うらぬ。よ  
と。向て。ひき。解。ど。あ。ん。ど。も。由。秋。の。式。百。十。日。殺。生。會。よ。の。  
不。回。也。と。び。と。く。う。い。う。風。吹。を。と。吹。ぬ。さ。と。か。う。わ。り。と。め。な。  
ん。地。よ。と。運。の。ゆ。く。十。病。難。計。を。ら。ち。さ。そ。え。も。い。の。一。も。ふ。し。て  
や。ち。大。船。と。の。り。う。と。し。二。楚。と。そ。あ。て。右。あ。か。さ。せ。金。と  
は。ん。て。法。率。大。ぬ。た。ゆ。て。さ。ら。ぶ。ぬ。が。の。ま。一。人。が。利。と。ゆ。ん  
神。王。万。民。の。教。養。と。か。り。と。す。を。さ。と。あ。り。あ。て。や。る。れ。わ。い。が  
し。わ。ら。し。い。祝。の。時。を。あ。れ。ば。福。と。い。さ。り。あ。い。ん。を。よ。と。人。一。と

和。と。ゆ。り。事。つ。お。と。い。と。て。引。束。の。よ。う。ら。へ。ま。や。終。よ。一。天。の。と。が。あ。よ  
て。吾。尔。也。と。買。金。の。損。入。大。分。れ。此。を。は。げ。り。無。意。と。さ。る。が。町  
の。家。と。人。の。物。よ。あ。り。今。い。今。相。あ。り。よ。し。河。れ。ら。り。九。劫。の。傍。が。我。れ  
や。び。と。お。け。り。と。呼。ぶ。う。り。う。ら。う。糸。の。實。を。と。る。お。ふ。よ。一。の。人。を。せ  
い。あ。と。あ。ら。も。ち。ぬ。も。使。ひ。ぬ。才。の。甚。か。ら。い。親。の。儀。り。の。儀。居  
此。を。ふ。身。儀。の。物。と。あ。ら。は。し。て。儀。地。れ。高。地。を。よ。て。地。を。ら  
う。と。地。け。派。あ。ら。う。の。も。代。を。不。全。家。う。び。を。そ。い。事。よ。極。の  
き。も。大。お。あ。ら。う。の。ゆ。う。ら。う。中。と。か。あ。り。て。目。は。見。見。と。い。道。  
親。父。の。由。親。の。身。儀。と。母。と。免。れ。仁。果。より。法。法。奇。藤。を。か  
小。舟。を。な。と。う。そ。も。是。入。事。を。明。當。者。の。と。は。ら。う。れ。い。  
人。は。是。も。感。ず。ら。り。兄。の。甚。者。惟。一。夫。人。の。い。ひ。ひ。ん。り。を。事







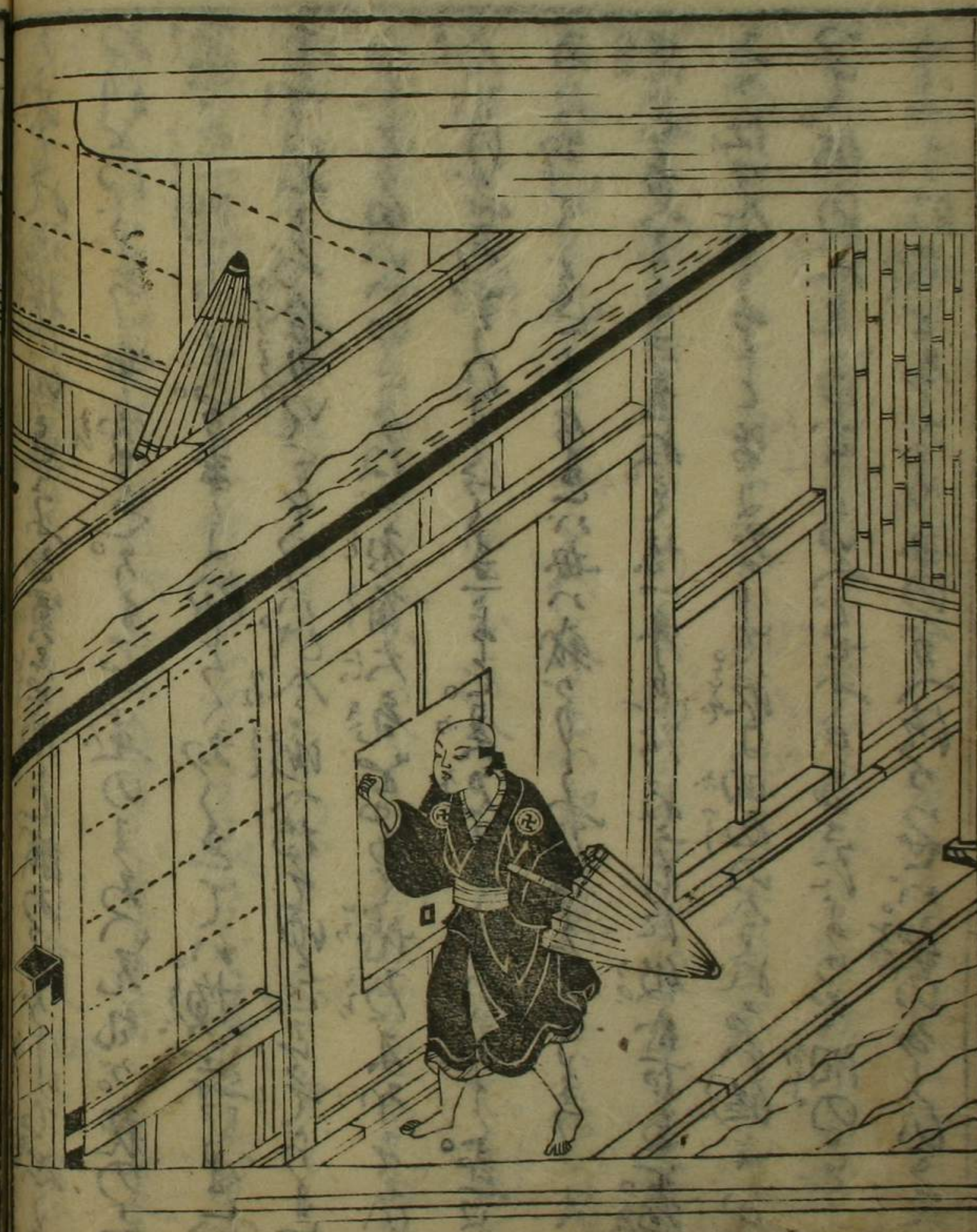
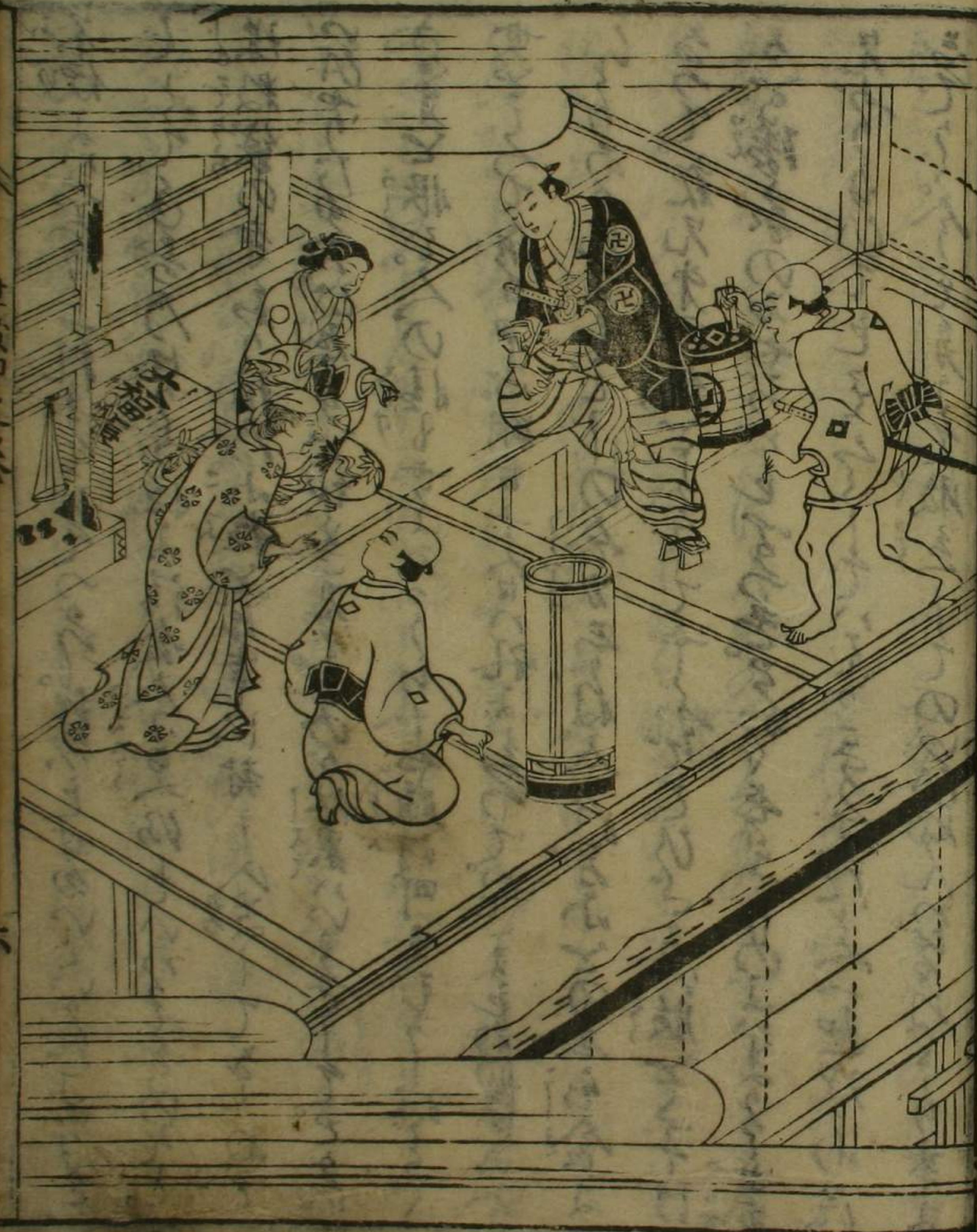
やりて。今も今も武百有あつて。を替りまはし。後いつ旅のそ  
 ろと。又甚者が。だれが。事。合力の。せぬ。と。  
 ろ。い。事。母。人の。別。で。れ。て。れ。る。何。と。え  
 ま。て。然。れ。せ。う。と。あ。ま。い。何。が。そ。を。ま。や。ど。あ。つ。て。た。り  
 る。これ。が。これ。も。事。で。今。の。親。の。ゆ。づ。ま。の。報。を。皆  
 ま。や。う。と。借。り。ひ。何。と。い。今。で。も。賞。を。して。三。身。を  
 せ。ぞ。く。と。あ。ま。い。損。を。く。今。の。今。も。悪。む。ひ。て。と。ま。て。わ。れ  
 辞。し。う。と。さ。の。腹。を。さ。ぐ。ま。う。あ。あ。と。え。が。く。あ。つ。と。そ  
 ま。い。く。ま。悪。が。つ。て。わ。ら。が。此。極。子。と。ま。う。う。い。う。ぞ。満。足。ま。あ。り  
 だ。と。れ。り。と。い。つ。ま。た。れ。ば。甚。九。希。穿。て。先。を。ま。う。う。を。か  
 別。と。な。す。親。父。の。運。の。い。ひ。め。れ。つ。ま。て。は。合。れ。極。子。よ。の。つ

と。本。で。れ。福。松。の。ゆ。き。う。を。買。つ。物。と。俄。あ。ら。が。て。心。と  
 ぬ。利。を。ゆ。き。事。な。く。う。ま。と。運。の。ま。う。い。兄。乳。が。親。の。と  
 運。を。定。規。ふ。り。て。万。幸。よ。ぬ。と。く。あ。つ。て。い。極。を。ま。い  
 で。叶。ね。え。づ。合。力。の。ま。あ。い。合。海。へ。持。て。ゆ。さ。ら。て。ら。ま。い  
 本。と。く。ぬ。い。の。さ。ね。が。怨。南。大。気。と。あ。り。地。乃。ま。や。そ。ひ  
 乃。と。け。な。ぬ。う。れ。ま。う。ま。と。具。忍。し。つ。ら。れ。し。事。百  
 ぬ。お。て。り。と。一。年。ま。い。毎。日。我。が。り。ま。た。う。あ。つ。ま。う。く  
 兄。甚。ま。う。と。ま。ま。い。を。後。一。年。も。た。ぬ。う。ら。に。彼。武。百。有。と。何  
 あり。仕。人。ま。う。と。告。ま。う。て。既。は。回。向。の。合。れ。あ。後。よ。か  
 つ。て。佛。の。親。也。と。な。と。い。ひ。と。ま。う。あ。つ。た。あ。め。ど。泪。の。こ。が  
 ろ。う。れ。文。と。あ。つ。り。母。の。方。へ。流。り。せ。い。親。の。あ。つ。い。て

世の四巻

五







不便よいかをうしれまを返すつゝ。終つてせむいいたふ行き  
 じとして。多勢乃はうらむ法念今更何といひきそのぞと。  
 珠粒袋の寄あり取乃小粒と。此中に封し入交してありぬと  
 つひやりたふばいばりぞむき見え。よめが仕果はひまうして。どがれ  
 きまよと恨え。人の情もせよあうらうらとや駿河町まじうしれどく  
 世とらうて病のちぶ。朔日十五の礼よあつて。あまをわははまふ。  
 いかりの兄よまこと一の合カるぬ。今れはふ小とのまに念よ  
 あつて。親兄弟の顔どくしてやふぞと。ひざらひ腹どくそけ  
 らと隣家のあやらどもをうつき。どかくをさりのよなまうせ業  
 兄がりあひてもそくくしていえがさうすたよ一廻環あんに  
 あせうら。今そ勇うて腹をくしてのひいぬん。あなはうり奉ふ

きこつて。人よまこととんむと激とつらうそのまじい。その我とや  
 めてあげてのうひまうらうが勝なり。それがキとらよひふ徳よひ  
 矢がさねとてまよまげば鬼のうらまのふの角とあら  
 らのぞ。妹よ母の親いたしめく。涙のうらみのぞと。まよれお  
 りんばらよひひやうのあを散て。酒よめてはひを井してやまひ。まひ  
 とよかご下けり。あまふありて一層あげさあつておそわつら。ま  
 のくまらあともん奉ふ。此を能くまよと。のうらねはきうらまを  
 気とまをわね。ひまうらまをありてまよあまのひめく

むまに無業がよ狭ら雷丸の酒棧煙

さむさふ甚たむ安於川紙子くんで。後河町と通つて我もむし  
 い男山。八ん葉へし時とありし中とあつて。また我えの家とみ







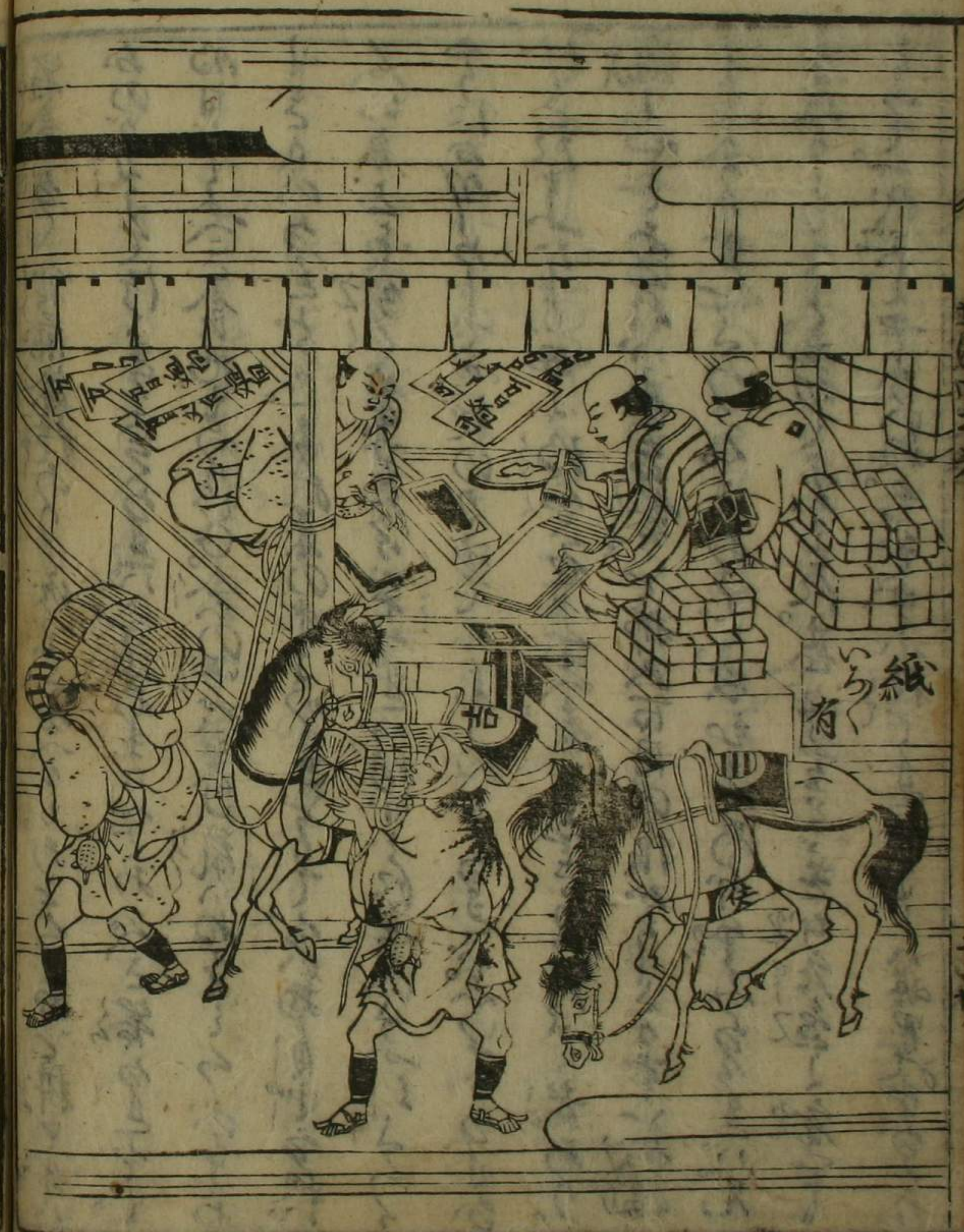
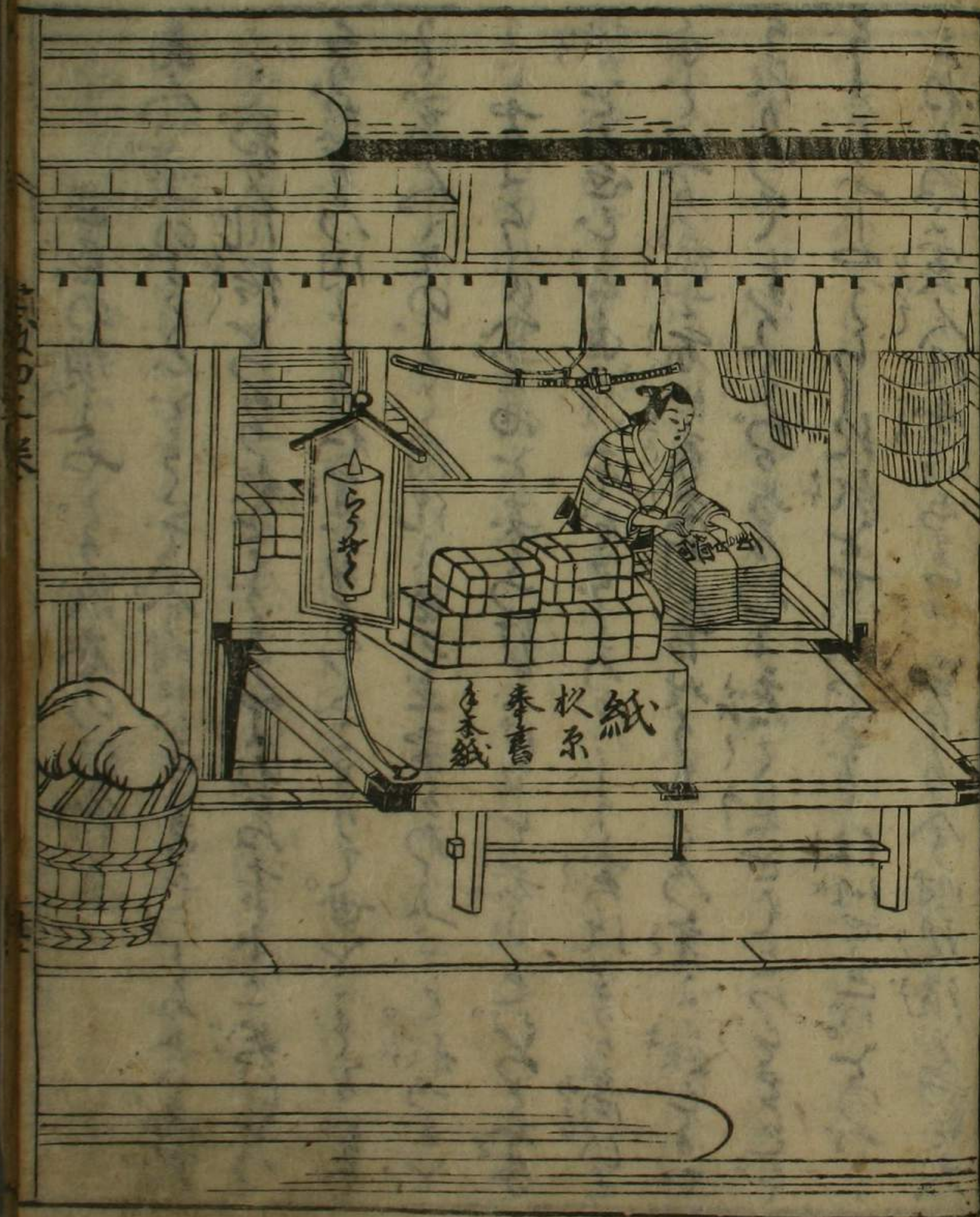
らうて。多岐うあしとわてなまきとわれ。あかきうりふきしき  
 きぶ。大方の世世しやまら。是とあまふはがさてあまの御用を  
 ぐ。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 りらうて。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 くわ。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 目らま。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 ざら。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 とは。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 まら。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 ぬら。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。

つま。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 たい。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 よの。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 めて。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 か。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 お。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 人。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 あ。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 ぶ。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 と。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。  
 と。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。あまの御用。























てあつた所を千代に譲立てておんまゝおとしよふ何れも  
家町を世に譲りておんまゝおとしよふ何れも  
ておねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも

まゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも  
おねわつておねわつといふ事おんまゝおとしよふ何れも

世渡軍配圖卷之三

世渡軍配圖卷之三



商人軍記圖卷之五



目録

川流也此の具は目録掛の徳子性

内院の事とらるる竹竿此細工人

浮よつてあつたき草乃由丹表

川がれに掛ひ徳乃を物よ大なる事

商人軍記

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the title '商人軍記' and other illegible characters.



源のうけの物大あり出てくる事

腹一ふりうけとむ食屋の仕合

此身よあが地へうこしての地英島

和紙と小判とるて大あを吾怒人

船の島に船の船よ二代長者

ういあがして持出ーこ人の福人

男は樂いびす子し子代が性英島

福林達の守りあに英令林の欠落

川流まれ道を小目と樹ら熊子性

とま餘物といらと吾雷といらと二つり差別あり。餘物といらと

道よけいて奈とふと。あまふと事よ八劫とあまふと。費らら

事と八雷とせぬ事なり。吾雷といら。ははふと事おと付とかり

と。捨つらん事のことと結ぶいて。欲わく雷と事あり。さませら

のふ浪若よあむあり。そ身お後れ衣と事と。朝夕もさううの

と英島とわらひひ。英島と親と事と。下と事と。神と英佛の事と

神がい。親よ樂とあむ他人の義理と事と。妻子の身持とかるく

事持よせとつあむありと事と。万事をして富と事と。天

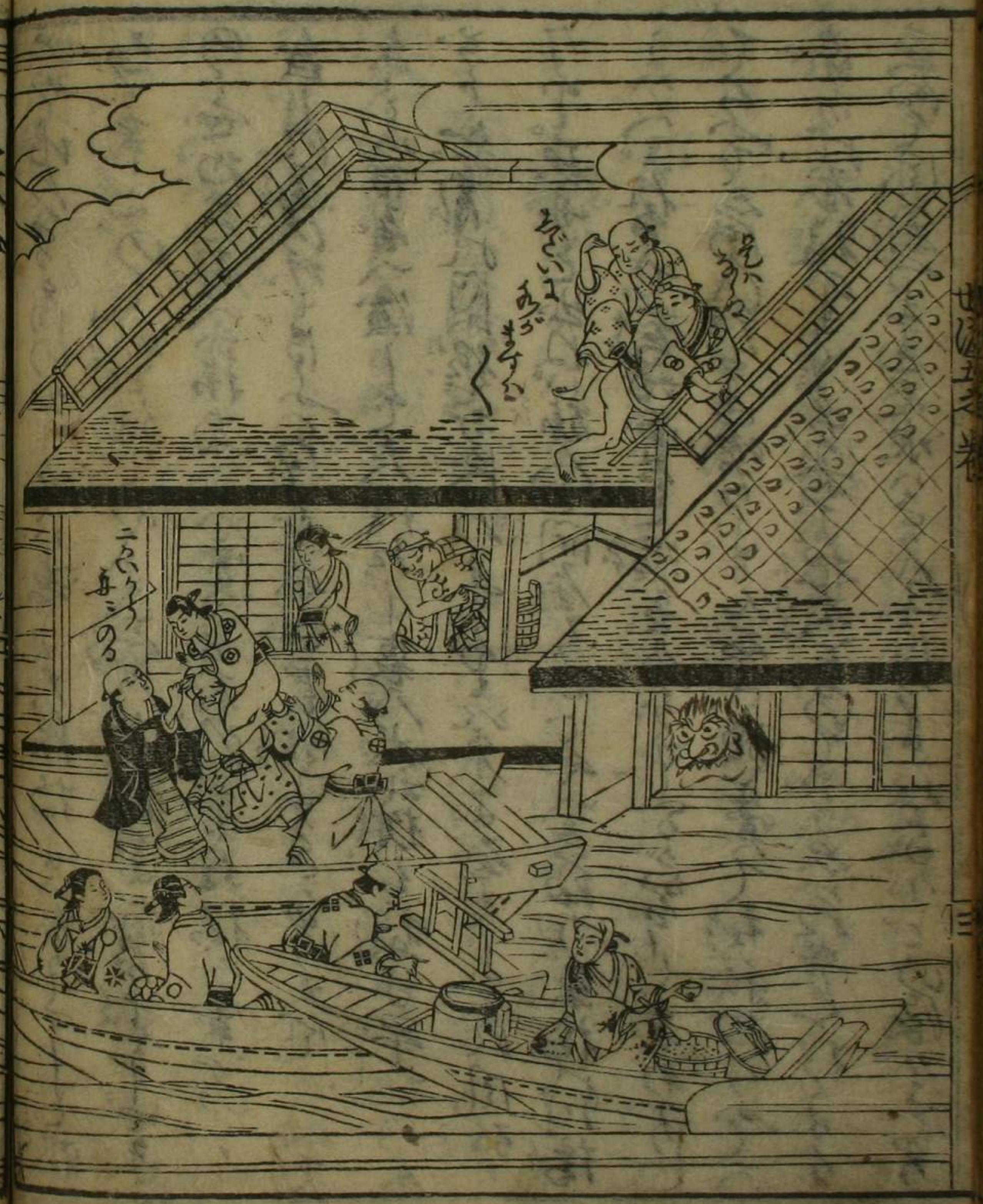
のあまうく人のかまわり。世のありさぬと事と。かろ福若ハ橋よ



ちて。金銀海草のかりりた。俵物とくらふとくら。二親の介仕  
 あり。一先祖又ハ兄弟の縁業とあに。小娘は仕美のよの布の  
 神下とてか裁て。その物とてし茶袋よりすりや。何れをがお茶を  
 ばとて。漬まり。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 兼ても。漬まり。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 して。毎にぬか。漬まり。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 朝夕に美地とて。日押。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 て。いさ。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 伏見の所。里又。美地。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 場。の。信。美。地。と。て。日。押。さ。る。る。に。お。受。た。は。さ。る。る。に。漬。ま。り。さ。る。る。に。

この地たつ高のかりりた。俵物とくらふとくら。二親の介仕  
 あり。一先祖又ハ兄弟の縁業とあに。小娘は仕美のよの布の  
 神下とてか裁て。その物とてし茶袋よりすりや。何れをがお茶を  
 ばとて。漬まり。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 兼ても。漬まり。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 して。毎にぬか。漬まり。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 朝夕に美地とて。日押。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 て。いさ。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 伏見の所。里又。美地。さるるに。お受たは。さるるに。漬まり。さるるに。  
 場。の。信。美。地。と。て。日。押。さ。る。る。に。お。受。た。は。さ。る。る。に。漬。ま。り。さ。る。る。に。







て春松の器をどけけく。あるまじうて埋のされを。里人大難  
 おろごすく。の枝川迄本を垂つきの茂とあがり。えうりゆまを病  
 買よとら。色々をの端し。床のどみ六尺あがり。泊り着と裸身  
 あそりし。望らまき。つら女か。のづら。か。ま。の。力。と。か。か。り。自。傷  
 の大層と。あ。り。た。り。て。と。い。川。へ。も。り。ぬ。ま。お。れ。ぬ。ハ。ま。か。が。り。お。れ。ぬ  
 のどく。あ。ま。ま。う。法。乃。々。川。中。上。布。と。か。ん。が。ど。く。報。報。う。さ。さ。づ。は  
 材。布。甚。重。の。か。り。ま。い。ひ。と。く。日。は。自。由。と。甚。は。う。合。報。と。今。れ。甚。重  
 命。の。苦。う。い。あ。う。と。欲。人。と。肌。つ。け。合。と。と。と。か。り。力。給。う。て。水。に  
 ま。ま。ぬ。知。り。葉。一。葉。し。令。方。と。ハ。け。付。の。事。ぬ。で。し。よ。と。さ。ま。ぬ。よ  
 老。ら。も。あ。ま。ま。と。ま。し。く。挿。り。て。目。へ。入。来。ぬ。と。う。い。づ。福。ま。ま。ぬ  
 と。後。若。裸。百。歳。乃。男。山。と。派。の中。ま。た。せ。と。ま。一。末。ハ。一。面。は。海。の  
 ども。親。毒。あ。ま。ま。生。死。も。あ。ら。ね。ぬ。の。地。が。ま。ま。ま。ま。と。何。が。同。と  
 ち。若。と。あ。ま。ま。被。林。傍。の。傳。葉。下。書。ひ。と。り。如。て。あ。の。か。ん。は。能。子  
 と。む。つ。さ。げ。川。流。は。ひ。ろ。く。遠。き。と。い。ふ。今。だ。と。新。葉。若。持。の。流。け  
 ら。一。月。と。う。け。ま。か。り。た。し。能。子。引。け。る。か。く。後。衛。門。と。ま。う。り  
 我。道。へ。お。も。え。ん。と。ま。う。一。独。し。て。か。か。平。治。か。い。と。ま。さ。と。あ。ま。ま。一。後  
 屋。の。佛。又。是。馬。漢。川。へ。水。を。舞。ゆ。く。と。え。り。け。お。ま。う。けて。親。親。た。か  
 及。く。と。ま。ま。の。け。れ。た。と。お。り。働。ぬ。と。ま。う。と。う。か。と。い。ひ。ぬ  
 と。能。と。ま。ま。つ。て。な。り。と。ま。ま。と。傳。葉。一。と。年。中。れ。着。代。と。や。か。と。お。れ。か  
 ん。う。り。あ。り。ぬ。と。ま。ま。の。事。と。ま。ま。と。お。い。あ。う。と。ま。ま。と。ま。ま。い。わ。た  
 い。ま。ま。と。ま。ま。ま。ま。の。と。ま。ま。の。長。持。と。ま。ま。と。ま。ま。と。傳。葉。が  
 着。す。と。お。り。や。ま。ま。の。傳。葉。着。へ。う。り。て。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。と。ま。ま。の。づ。く







は秋方よか子らうと。彼らやの板敷くよ。事さし。例へし  
ゆき一級つておる来たよの。うづ川へまうして。まらり。

浪らうけの勢太あり出らるる業

河巻の村置の太さあつと。親いよまらひ。親とえし。かきまの  
り来とあつと。ほろひわりの目も。あられぬ。身なり。ま。世後よ  
沖のや。もうり。事よ。人より。先よ。も。村の里。に。柱。の。事。と。高  
人。ま。の。百。村。わ。り。し。が。ま。よ。太。あ。つ。つ。と。ま。ら。り。と。や。伏。ん。よ。来  
て。大。船。で。又。被。り。お。し。ま。あ。の。男。二。人。の。介。よ。三。人。の。雇。人。と。俄。よ  
茶。三。合。合。ま。た。也。合。梳。と。合。あ。つ。て。五。と。一。日。突。よ。は。く。ね。せ。二。艘  
の。船。よ。太。中。切。と。い。ふ。も。か。い。中。へ。入。也。板。敷。地。桶。又。つ。よ。太。中  
を。つ。い。と。し。に。こ。つ。と。入。て。船。の。ち。よ。載。せ。後。せ。ゆ。ら。四。艘。の。か。り。舟。も。け  
舟。し。一。太。中。板。敷。を。立。と。廻。し。は。孫。合。つ。橋。又。つ。つ。なり。後。の。橋。合。せ。也。

人い。あ。よ。つ。り。と。か。と。び。つ。茶。三。合。と。お。て。あ。つ。と。也。茶。も。か。り。と。物。載  
印。と。ハ。湖。秋。又。ハ。為。ぬ。茶。カ。桶。傘。何。よ。う。う。流。流。流。流。乃。煮。た。ん。と  
孫。打。と。合。て。と。ま。つ。と。親。と。あ。ん。せ。う。と。い。ひ。も。ま。づ。何。が。と。の。ふ。の。血。う。ら。た  
を。こ。突。え。あ。つ。て。今。又。湯。だ。た。の。ぬ。の。か。れ。ば。是。ハ。天。れ。た。は。り。と。梳  
ひ。ま。入。つ。つ。と。七。つ。と。喜。れ。勝。の。と。時。の。ち。よ。三。合。の。は。く。ね。金。と。賣  
切。價。よ。れ。一。番。茶。三。合。と。い。ふ。も。か。い。中。へ。入。也。板。敷。地。桶。又。つ。よ。太。中  
り。と。う。ら。ん。は。り。ち。と。用。と。せ。事。か。ま。い。ば。舟。の。中。に。太。中。三。合。と。後。三  
也。若。う。に。さ。り。一。ぬ。き。茶。の。舟。と。也。白。茶。と。と。あ。つ。ま。し。に。橋。か。ら  
て。船。中。よ。汲。み。上。り。流。き。あ。つ。と。と。合。合。ふ。た。せ。て。又。お。れ。と。く  
は。ね。と。也。一。流。き。上。り。事。倍。よ。あ。つ。と。と。ら。り。と。流。流。流。流。乃。煮。た。ん。と









七五七之巻

大思打







う事いざとぞ。そりて茶の下焼付そらうそふておこりまは。文の  
大夫感心。御よ今の世れ聖人と貴公れ幸なり。まがら孔子子路  
の牛どうけるるひいと孫義あつて。子路が牛どうけい。子貢が金  
どうぶらうりらうにまをさうの。子路もあて今より後あまあ  
あぞ。とらふ人多かんと作らう。然れ今い令と交納あつて給る。  
又らよあひて人の命ととらふて。礼地とらふとね。胸んまかだ。  
けん種とまか。おれよあて給るまとい。又あまらうまづい。ちん  
あ極から由利め程信んと約佛僧下よ金。文五右信び母とかごよ  
の母。又よいるをいして。然れ里へまらぬ。あまら。郭傳乃傳。傳  
は事とまて。こらやよの給。り色のと大脇扱とらて。ま回ふそつ  
とらり。御やうあてい。川流の傳。のかり。大をれ令とまら。と

まら。何とそあごまよ。いなるて。絶てあら。ぞ。極え。絶れ。後い。ま  
只。我あり。御よ。い。ま。方。も。令。と。ま。あ。て。と。ら。う。給。る。は。わ。ら。う。ま。あ。  
の。う。ず。う。ま。あ。べ。日。は。仏。の。ま。あ。と。あ。て。わ。ら。う。わ。ら。う。う。う。接。を  
か。ん。ど。わ。早。く。お。れ。と。じ。り。い。親。と。ま。あ。て。は。か。佛。又。あ。あ。わ  
ま。れ。て。親。と。あ。ら。ま。あ。て。い。ひ。て。い。ま。あ。て。む。ら。う。か。拾。り。ま。あ。て。後。ま。あ  
あ。れ。れ。ど。あ。ご。ま。あ。て。る。は。い。え。け。へ。あ。ら。う。あ。ら。う。御。は。あ。ら。う。れ。れ。令。い。  
我。あ。ご。ま。あ。て。い。ま。あ。て。ま。あ。て。ま。あ。て。理。當。て。ら。う。ま。あ。て。い。ま。あ。て。ま。あ  
ど。た。川。へ。あ。て。び。ん。り。ま。あ。て。今。又。拾。り。ま。あ。て。今。ま。あ。て。ま。あ。て。ま。あ。て。ま。あ  
あ。ら。う。ま。あ。て。い。ま。あ。て。大。を。れ。ま。あ。て。理。當。て。ら。う。ま。あ。て。い。ま。あ。て。ま。あ  
ま。あ。て。ま。あ。て。ま。あ。て。い。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ  
し。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ。て。り。ま。あ

世直し

十一







なりてを。望とありつけたり。よかむ。今を。親のこ  
ね方。万事は。はきて。なき。あ。事。ね。なり。親。は。け。け  
あ。て。死。ね。だ。ま。泉。の。た。り。よ。か。ね。と。の。こ。子。た。か  
鼻。と。う。よ。を。て。久。は。親。父。極。の。山。名。日。下。と。所。振。舞。と。の。是  
の。と。つ。けて。の。ご。す。ね。よ。と。と。げ。子。の。親。の。何。り。も。林。山  
て。身。止。か。ら。る。は。上。隣。の。家。と。買。う。一。の。言。く。れ。佛。事。と。長  
寧。に。勤。じ。だ。法。慈。よ。甚。一。も。方。い。利。利。後。と。を。慈。之。結。か  
純。と。男。れ。親。お。よ。い。そ。つ。ま。す。脇。か。つ。む。し。て。金。赤。の。た。理。理  
者。は。も。と。り。す。て。不。得。と。せ。い。よ。ゆ。げ。と。事。ら。う。ま。世。よ。力。と。い  
ら。の。人。と。寺。方。へ。奥。抄。理。し。て。か。り。賣。れ。音。や。け。り。佛。人。血。塊  
の。療。治。と。な。と。付。て。子。と。は。ら。し。て。お。る。醫。と。も。あ。り。お。り。と。ら  
乃。ん。と。竹。の。串。刺。て。難。也。賣。る。と。な。ん。く。生。と。受。て。世。と。お。く。ま  
ら。甲。斐。あ。り。法。計。の。法。の。種。を。承。り。て。世。君。よ。か。ね。高。貴。ま。た。れ。か  
何。と。し。て。お。り。あ。り。よ。い。と。と。て。ゆ。げ。た。と。利。と。ゆ。ら。と。と。な。ま  
そ。む。と。事。に。つ。て。し。け。後。う。人。の。未。だ。後。う。な。り。は。ま。ま  
中。系。れ。高。人。二。人。あ。り。時。り。採。て。方。業。目。と。し。報。と。は。如。來。せ。よ。  
一人。の。福。者。の。半。計。う。ま。よ。力。と。均。毎。物。物。を。報。日。あ。り。て。と。ま  
ら。ま。よ。中。系。れ。甚。屋。と。入。地。敷。其。基。な。ま。と。あ。り。め。又。難。と。具。切。り  
て。同。音。と。ら。り。ひ。と。我。内。の。あ。か。い。相。子。が。あ。り。が。あ。ま。い。ん。や。小。地。を  
掘。て。あ。り。あ。り。よ。今。一人。の。福。持。の。あ。り。今。一。寸。ゆ。と。歌。は。目。鏡  
と。う。けて。自。身。大。多。の。法。律。と。り。所。何。も。後。の。あ。た。と。我。と。う。な。し。と。樂。せ  
ら。る。福。人。乃。方。に。ゆ。と。と。と。我。と。あ。い。何。り。向。一。採。と。是。同。じ

乃んそ竹の串刺て難也賣るとなんく生と受て世とおくま

らる福人乃方にゆととと我とあい何り向一採と是同じ











